PENTAX®

デジタルカメラ

Optio 30

使用説明書



カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラOptio 30をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニタに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

商標について


SDロゴは商標です。
PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。
オプティオおよびOptioはペンタックス株式会社の商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
本製品はPRINT Image Matching IIに対応しています。PRINT Image Matching II対応プリンタでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。PRINT Image Matching及びPRINT Image Matching IIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

PictBridgeについて

「PictBridge」は、プリンタとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび液晶モニタの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。



警告 このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。



注意 このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

 **警告**

- カメラを分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ACアダプタは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外のACアダプタをご使用になったり、専用のACアダプタを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、電池またはACアダプタを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- AC アダプタ使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、使用を中止してください。機器の破損・火災・感電の原因となります。

⚠ **注意**

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火のおそれがあります。
- 充電式のニッケル水素電池以外は充電しないでください。破裂・発火のおそれがあります。このカメラに使用できる電池の種類で、ニッケル水素電池以外は充電ができません。
- バッテリーの液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- ストロボ発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目についたり、口に入らないよう十分にご注意ください。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用や逸失利益等）については、保証しかねます。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、「SD メモリーカード使用上の注意」（p.16）をご覧ください。
- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニタの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり液晶モニタが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 三脚の使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

目次

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。必ずお読みになり、撮影をはじめる前に、操作を行なってください。

2 クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影・再生をしたいときは、この操作方法をご利用ください。

3 機能共通操作

各ボタンの機能、メニューの使い方など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、「撮影」「再生・消去」「設定」の各章をご覧ください。

4 撮影

撮影モードを切り替えるバーチャルモードダイヤルの設定方法や撮影シーンに合わせて選択するピクチャーモード、さまざまな撮影の方法など、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

5 再生・消去

再生の方法や消去のしかたを説明しています。

6 画像の編集・設定

撮影した画像の編集方法やカメラに関する機能の設定方法について説明します。

7 付録

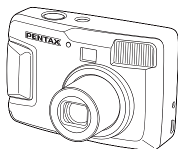
困ったときの対処のしかたや、別売品の案内をしています。

操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

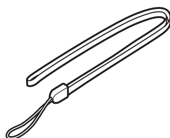
☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。
P	項目の最初に表示されたアイコンは、その機能が使える撮影モードです。 例） P **シャープネスを設定する**

1
2
3
4
5
6
7

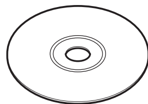
主な同梱品の確認



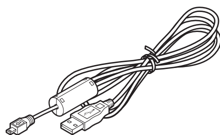
本体
Optio 30



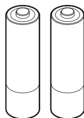
ストラップ
O-ST18（※）



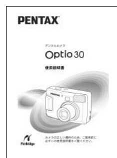
ソフトウェア
（CD-ROM）S-SW18



USBケーブル
I-USB6（※）



単3アルカリ電池（2本）



使用説明書
（本書）



使用説明書
(PC接続編）

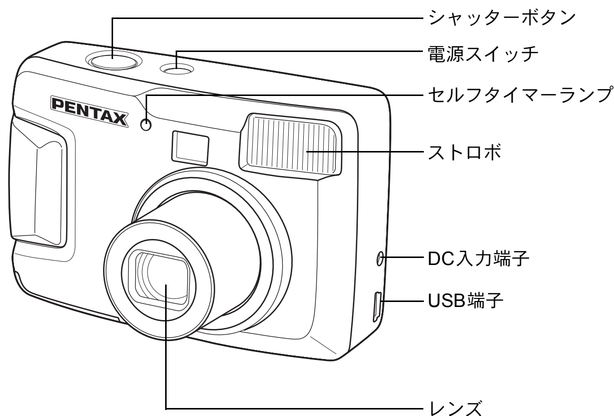


保証書

（※）の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売アクセサリーについては、「別売アクセサリー一覧」（p.106）をご覧ください。

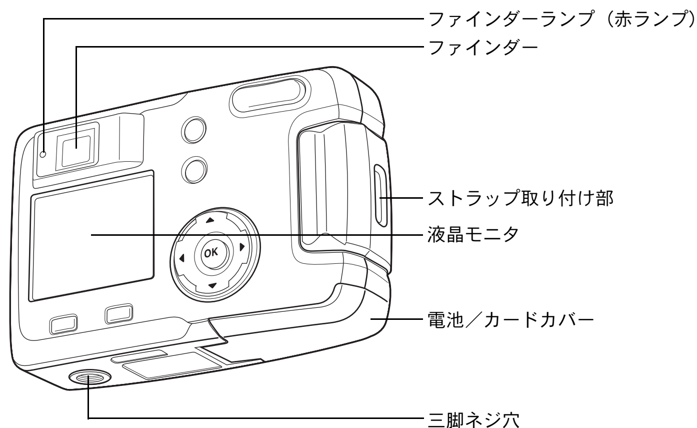
各部の名称

前面



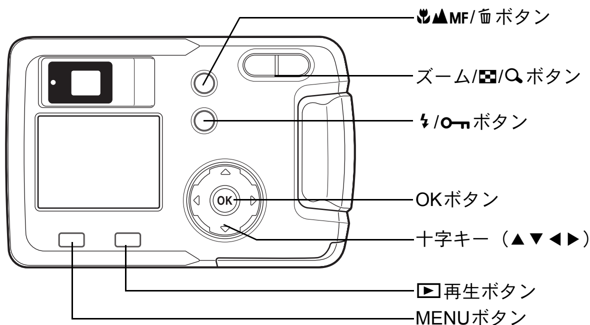
シャッターボタン
電源スイッチ
セルフタイマーランプ
PENTAX
ストロボ
DC入力端子
USB端子
レンズ

背面



ファインダーランプ（赤ランプ）
ファインダー
ストラップ取り付け部
液晶モニタ
OK
電池／カードカバー
三脚ネジ穴

操作部の名称



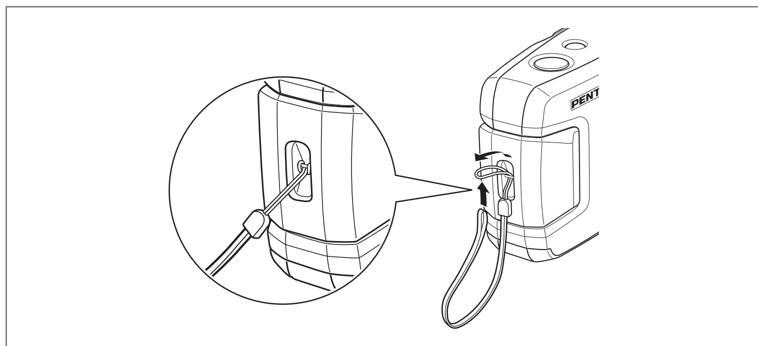
ガイド表示について

操作中は液晶モニタにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

十字キー（▲）	▲
十字キー（▼）	▼
十字キー（◀）	◀
十字キー（▶）	▶
MENUボタン	MENU
▶再生ボタン	▶

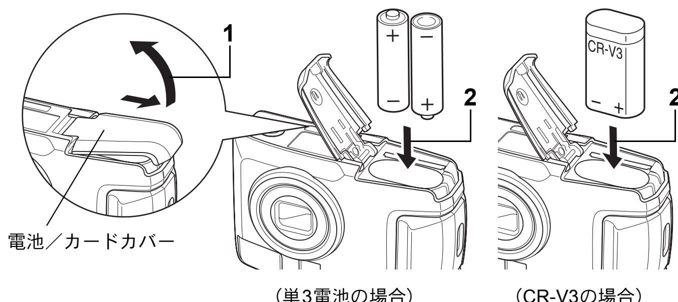
ズーム/ / ボタン	
デジタルズーム時	🔍
トリミング指定時	🔍
🗑ボタン	🗑
ボタン	
OKボタン	OK

ストラップを取り付ける



ストラップの細いひもを、ストラップ取り付け部に通して取り付けます。

電源を準備する



（単3電池の場合）　（CR-V3の場合）

電池をセットする

カメラに電池をセットします。電池はCR-V3を1本か、単3 リチウム電池、単3ニッケル水素電池、単3アルカリ電池のいずれか2本を使用します。

1　電池／カードカバーを矢印の方向にずらして、引き上げる

2　電池の向きを電池室内の⊕⊖表示に合わせて、挿入する

3　電池／カードカバーを閉めて、水平方向に押し込む



長時間ご使用になるときは、ACアダプタキットK-AC5J（別売）をご使用ください（p.14）。

注意

- CR-V3、単3リチウム電池、単3アルカリ電池は充電式ではありません。
- 電源スイッチがオンのときは、電池カバーを開けたり、電池を取り出したりしないでください。
- 長い間使わないときは、電池を取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、電池が液もれをすることがあります。
- 長時間電池を取り外して、新しく電池を入れたときに日時がリセットされていたら、「日時を設定する」（p.19）の手順に従って、設定しなおしてください。
- 電池は正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。

撮影可能枚数と再生時間（25°C・電池交換時）

● 撮影（ストロボ使用率50％）

	撮影枚数
CR-V3	約600枚
ニッケル水素	約420枚
単3アルカリ	約140枚

● 再生

	再生時間
CR-V3	約520分
ニッケル水素	約340分
単3アルカリ	約240分

• この数値は、当社の測定条件によるものです。撮影モード、撮影状況により異なります。

注意

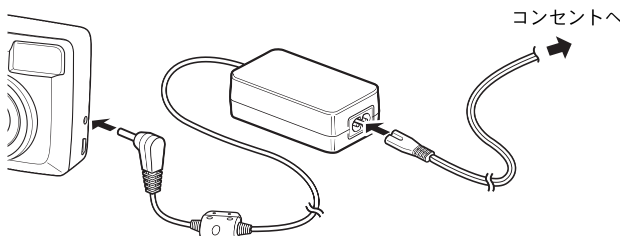
- 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備の電池を用意して、衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、一旦低下した電池の性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 単3アルカリ電池は特性上、低温ではカメラの性能を十分に発揮できないことがあります。低温でご使用の場合は、CR-V3など他の電池のご使用をおすすめします。
- 海外旅行、寒冷地での撮影や写真をたくさん撮るときは、予備電池をご用意ください。
- 液晶モニタをオフにし、ファインダーを使って撮影すると、電池を長持ちさせることができます。

電池の残量表示

液晶モニタに表示された▭で、電池の残量を確認できます。

	（緑点灯）	：	電池がまだ十分に残っています。
	↓		
	（緑点灯）	：	少し減った状態です。
	↓		
	（黄点灯）	：	残量が少なくなった状態です。
	↓		
	（赤点灯）	：	残量がほとんどありません。
	↓		
「電池容量がなくなりました」		：	メッセージの表示後、電源オフとなります。

1 準備



ACアダプタを使用する

液晶モニタを長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプタキットK-AC5J（別売）のご使用をおすすめします。

1　ACアダプタのDC端子を、カメラのDC入力端子に接続する

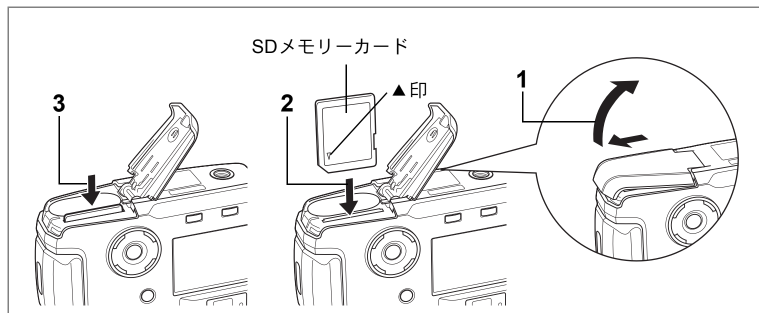
2　ACコードをACアダプタに接続する

3　コンセントに電源プラグを差し込む

注意

- AC アダプタを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行なってください。
- カメラやACアダプタ、ACコード端子、コンセントはしっかり差し込んでください。カメラがSDメモリーカードにデータを記録、または読み出している間に接続部が外れると、データが破壊されます。
- ACアダプタをご使用になるときは、ACアダプタキットK-AC5Jの使用説明書をあわせてご覧ください。
- ACアダプタを接続して、カメラにセットされているニッケル水素電池を充電することはできません。ニッケル水素電池の充電は、専用の充電器をご利用ください。

SDメモリーカードをセットする／取り出す



このカメラで使用できるカードは、SDメモリーカードです。撮影した画像は、SDメモリーカードまたは内蔵メモリに記録されます。カードをセットして撮影したとき（液晶モニタにが表示されます）はカードに、カードをセットしていないとき（液晶モニタにが表示されます）は内蔵メモリに記録されます。SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

1　電池／カードカバーを矢印の方向にずらして、引き上げる

2　SDメモリーカードのラベル（▲印のある）面を液晶モニタ側に向け、カチッと音がするまで押し込む

3　電池／カードカバーを閉めて、水平方向に押し込む

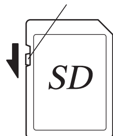
カードを取り出すときは、カードを矢印の方向に押し込んでください。カードが少し飛び出すので、カードを引き抜いて取り出してください。

データバックアップのおすすめ

内蔵メモリに記憶したデータは、まれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータはパソコンなどを利用して、内蔵メモリとは別の場所に保存しておくことをおすすめします。

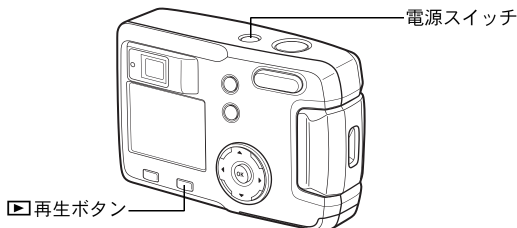
SDメモリーカード使用上の注意

- 電池／カードカバーを開けるときは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。



- パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットした SD メモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。
- カメラ使用直後に SD メモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SD メモリーカードへのデータ記録中や、画像の再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SD メモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- 未使用または他のカメラで使用したカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「カード／内蔵メモリをフォーマットする」（p.94）をご覧ください。
- SDメモリーカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SDメモリーカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、ACアダプタやバッテリーを抜いたとき
- SDメモリーカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や、保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 動作確認済みのメモリーカードにつきましては、当社ホームページで確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。

電源をオン／オフする

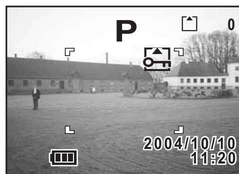


1　電源スイッチを押す

電源がオンになります。電源をオンにすると、レンズカバーが開き、レンズが前に出ます。
もう一度電源スイッチを押すと、電源がオフになります。

カードチェックについて

電源をオンにすると、内蔵メモリを使用している場合は、液晶モニタに が、SDメモリーカードがセットされている場合は、液晶モニタに が表示されます。
またSDメモリーカードのライトプロテクトスイッチがLOCKになっていると、 が表示され、画像の記録はできません。



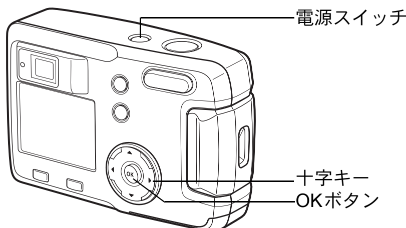
再生専用モード

再生ボタンを押しながら、電源をオンにすると、「再生専用モード」で起動します。

- 「再生専用モード」で起動させると、レンズは閉じたままで前に出てきません。
- 「再生専用モード」から「撮影モード」へ切り替えるには、一旦電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。

静止画を再生する☞p.72

初期設定をする



カメラの電源を入れたときに、以下のような画面が表示されたら、参照先の手順に従って初期設定をしてください。

［Initial Setting（初期設定）の画面が表示された場合］
☞p.18～19「言語を設定する」「日時を設定する」
［液晶モニタの右下に表示された日時が、現在の時刻と異なる場合］
☞p.95「日付の表示スタイル／日付／時刻を変更する」、p.19「日時を設定する」

上記のような画面が表示されない場合は、初期設定をする必要はありません。

言語を設定する

使用する言語を日本語に設定します。

1　十字キー（▲▼◀▶）を押して、「日本語」を選ぶ

2　OKボタンを押す

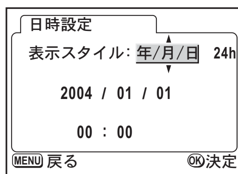
日時を設定する画面が表示されます。



日時を設定する

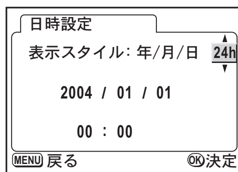
日付の表示スタイルと現在の日付／時刻を設定します。

1　十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する



2　十字キー（▶）を押す

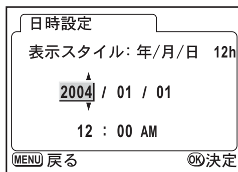
「24h」の上下に▲▼が表示されます。



3　十字キー（▲▼）を押して、24h（24時間表示）または12h（12時間表示）を設定する

4　十字キー（▶）を押す

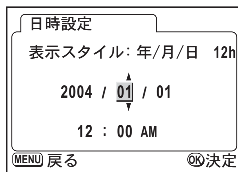
「西暦年」の上下に▲▼が表示されます。



5　十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

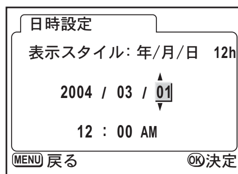
6　十字キー（▶）を押す

「月」の上下に▲▼が表示されます。



7 十字キー（▲▼）で月を設定し、十字キー（▶）を押す

「日」の上下に▲▼が表示されます。



8 手順7を繰り返して、「日」「時」「分」を設定する

9 設定が終了したら、OKボタンを押す

撮影できる状態になります。メニュー操作で設定した場合はメニュー画面に戻りますので、もう一度OKボタンを押してください。

注意
- 設定終了後、時報などに合わせてOKボタンを押すと、0秒にセットされます。
- 初期設定の途中で MENU ボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。
- ここで設定した内容は、設定後メニュー操作で変更することができます。メニューの呼び出し方は「日付の表示スタイル／日付／時刻を変更する」（p.95）をご覧ください。

記録サイズと画質を設定する

画像の用途に応じて、画像の記録サイズと画質を設定します。
記録サイズの数値や画質の★の数は、多くなるほどプリントした時に鮮明な画像が得られますが、画像の容量が増えるので撮影できる枚数は少なくなります。

設定は、「撮影機能」メニューで行います。
操作方法は、「FULLメニューの基本操作」（p.31）と「記録サイズを選択する」（p.41）、「画質を選択する」（p.42）をご覧ください。

● 選べる記録サイズと適した用途

2048×1536	A4サイズでの印刷などに適しています。
1600×1200	A5サイズでの印刷などに適しています。
1024×768	はがきサイズでの印刷などに適しています。
640×480	電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

初期設定では、2048×1536が選択されています。

● 選べる画質と適した用途

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、A4サイズなど大きな写真のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、写真のプリントおよびパソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

初期設定では、★★★が選択されています。

● 記録サイズ／画質と撮影可能枚数の目安

画質 / 記録サイズ	S.ファイン／★★★	ファイン／★★	エコノミー／★	動画（320×240）	動画（160×120）
2048×1536	7	13	19	42秒	155秒
1600×1200	12	20	28		
1024×768	25	46	58		
640×480	54	84	103		

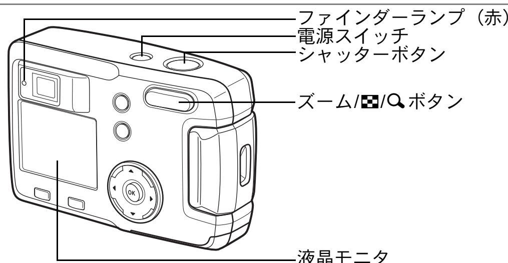
- 表の数値は、内蔵メモリ（16MB）を使用した場合の枚数です。
- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

SIMPLEメニューでの選択

このカメラには、通常の撮影メニュー（FULLメニュー）の他に、よく使う機能を簡単に設定できるSIMPLEメニューがあります。SIMPLEメニューでは、記録サイズと画質を組み合わせて「画像設定」として設定します。

SIMPLEメニューの基本操作☞p.29

静止画を撮影する



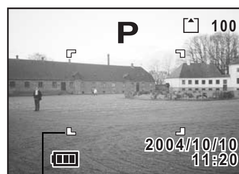
簡単に静止画を撮影します。初期設定では、ストロボは明るさに応じて自動的に発光します。

1 電源スイッチを押す

電源がオンになります。

2 液晶モニタを見る

液晶モニタの中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。ズームボタンを押すと被写体の大きさが変わります。



フォーカスフレーム

♠ ：被写体が大きく写ります。
♠♠♠：被写体が小さく写ります。

ファインダーをのぞいて、被写体の大きさを確認することができます。

3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに1.5秒間表示（クイックビュー）されます。撮影した画像はSDメモリーカードまたは内蔵メモリに保存されます（保存中はファインダーランプがゆっくり点滅します）。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

● **半押し**

シャッターボタンを軽く押すと（半押し）、ピント位置、露出、ホワイトバランスがロックされます。液晶モニタやファインダーランプは次のような情報を表します。

1.フォーカスフレーム

ピントが合うと枠が緑色に点灯します。ピントが合わないと、枠が赤色に点灯します。

2.ファインダーランプ

ストロボの充電が完了すると、ファインダーランプ（赤）が点灯します。ファインダーランプが点滅している時は、ストロボの充電中です。ストロボの充電中や画像の記録中は撮影できません。

● **全押し**

シャッターボタンを下まで押すと（全押し）、撮影されます。

[ピント合わせの苦手な条件]

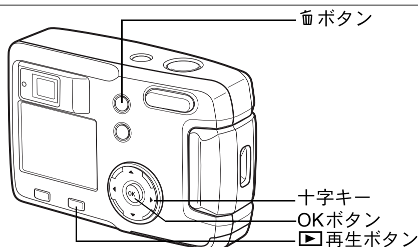
写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。こんなときは一旦撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定(シャッターボタン半押し)したまま、構図を撮りたい位置に戻してシャッターを切ります。

- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ黒なものなど、光の反射しにくい条件
- 細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光(周辺が特に明るい場合)

クイックビュー

撮影直後に画像が表示される「クイックビュー」は1.5 秒間表示されます。クイックビュー表示中に 🗑 ボタンを押すと、「消去」メニューが表示されます。「消去」を選び、OKボタンを押すとその画像を消去することができます。

静止画を再生する

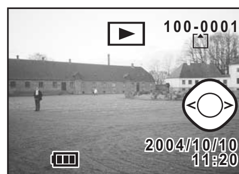


画像を再生する

静止画を再生します。

1　撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。



前後の見たい画像を再生する

静止画を前後に一枚ずつ送って再生します。

1　撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す



前の画像が表示されます。



次の画像が表示されます。

表示した画像を消去するには

画像表示中に 🗑 ボタンを押すと、消去画面が表示されます。十字キー（▲）を押して「消去」を選び、OKボタンを押すとこの画像を消去することができます。
シャッターボタンを半押しまたは全押しすると、撮影できる状態に戻ります。

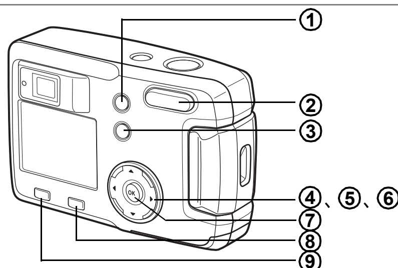




- 再生画面に切り替えると「ファイルNo.」の数字の最も大きい画像が最初に表示されます。
- 液晶モニタに表示された画像は、ズーム/⊞/🔍 ボタンの ♦/🔍 側を押すことで拡大して見ることもできます。
- 動画は、1コマ目の画像が表示されます。
- 画像が保存されていないときは、「画像がありません」と表示されます。

拡大して再生する ☞p.72

ボタンの機能を使用する



撮影モード時

① **MFボタン**
撮影方法を次のように切り替えます。
マクロモード（☞p.38）、遠景モード（☞p.38）
マニュアルフォーカス（☞p.38）

② **ズームボタン**
被写体の大きさを変えます。（☞p.59）

③ **ボタン**
ストロボの発光方法を切り替えます。（☞p.40）

④ **十字キー（◀▶）**
露出補正をします。（☞p.61）

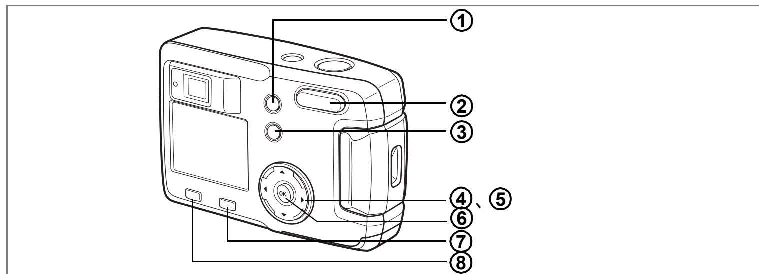
⑤ **十字キー（▲）**
セルフタイマー撮影、連続撮影を選びます。（☞p.57, 58）

⑥ **十字キー（▼）**
バーチャルモードダイヤルを表示して撮影モードを切り替えます。（☞p.35）

⑦ **OKボタン**
メニュー項目を決定します。

⑧ **再生ボタン**
再生モードに切り替えます。（☞p.35）

⑨ **MENUボタン**
SIMPLEメニューまたは「撮影機能」のメニューを表示します。（☞p.33）



再生モード時

① 🗑ボタン
画像を消去します。(☞p.78)

② ズーム/⊞/🔍ボタン
通常再生時に🔍を押すと、液晶モニタに表示される画像の大きさを変えることができます。(☞p.72)
通常再生時に⊞を押すと、一度に9画像を表示します。(☞p.74)

③ O-nボタン
画像を消去できないようにします。(☞p.80)

④ 十字キー(◀▶)
前後の見たい画像を表示します。(☞p.24)

⑤ 十字キー(▲)
DPOFの設定を行います。(☞p.81)

⑥ OKボタン
メニューで選択した機能を保存します。(☞p.29、p.31)
拡大再生時、9画像表示時にOKボタンを押すと、通常再生の画面に切り替わります。(☞p.72、74)

⑦ ▶再生ボタン
撮影モードに切り替えます。

⑧ MENUボタン
SIMPLEメニューまたは「▶再生機能」のメニューを表示します。(☞p.29、p.33)

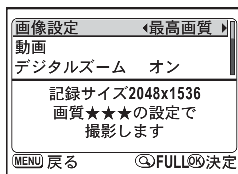
MENUを設定する

MENUボタンを押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。メニューを使用して、機能の設定や設定した内容をメモリ（保存）したり、カメラの設定を変更することができます。
メニューには、よく使う機能を簡単に設定できるSIMPLEメニューと、すべての機能を設定できるFULLメニューの2種類があります。本書では、メニュー操作の説明にFULLメニュー画面を使用しています。

メニューの表示方法

1　撮影モードまたは再生モードでMENUボタンを押す

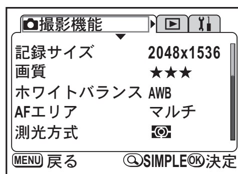
初期設定では、SIMPLEメニュー画面が表示されます。



SIMPLEメニュー

2　ズーム/⊞/🔍ボタンを押す

FULLメニュー画面が表示されます。
再度ズーム/⊞/🔍ボタンを押すと、SIMPLEメニュー画面に戻ります。



FULLメニュー



メニューの表示状態は、カメラの電源をオフにしても保存されます。FULLメニューを表示した状態で、カメラの電源をオフにすると、次回は初めからFULLメニューが表示されます。



FULLメニューからSIMPLEメニューに切り替えると、SIMPLEメニューにない項目の設定値は、初期値に戻ります。

SIMPLEメニューの基本操作

SIMPLEメニュー画面にはよく使うメニューだけが表示されます。撮影モードでも再生モードでも同じメニューが表示されます。

1 十字キー（▲▼）で項目を選択する

十字キー（▲▼）で選択枠が上下に移動します。画面の下側に選択枠で囲まれた項目の説明が表示されます。

2 十字キー（◀▶）で設定を切り替える

2' 選択画面があるときには十字キー（▶）で選択画面に移行する

設定が終了したら、OKボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

3 OKボタンを押す

設定が保存され、撮影または再生できる状態になります。

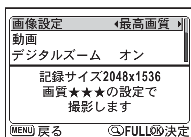
注意

- OKボタンを押して設定を保存する前に、OKボタン以外のボタンを押してメニュー画面を閉じると、設定は保存されません。
- OK ボタンを押してメニュー画面を閉じても、電源をオンにしたまま電池を取り出したりするなど誤った操作で電源をオフにすると設定は保存されません。

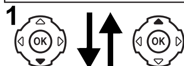
SIMPLEメニュー一覧

項目	内容	参照
画像設定	静止画の記録サイズと画質を設定します。	p.43
動画	動画の記録サイズ、色の設定、早送り動画の倍率を設定します。	p.64～69
デジタルズーム	デジタルズームを使用するかしないかを設定します。	p.60
デジタルフィルタ	撮影済みの画像をフィルタ処理します。	p.92
フォーマット	SDメモリーカードまたは内蔵メモリを初期化します。	p.94
日時設定	日付、時刻の設定、表示スタイルの設定を行います。	p.95
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を切り替えます。	p.95
画面設定	起動画面やメニュー背景画を変更します。	p.96
USB接続	USB接続モードを変更します。	p.99

SIMPLEメニューの操作例

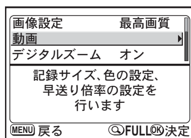


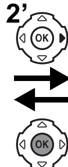
1

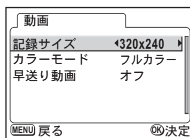


2'

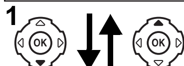
選択画面



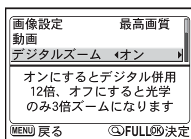


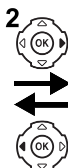


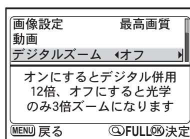
1

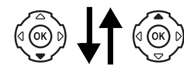


2









次のメニュー画面

FULLメニューの基本操作

FULLメニュー画面には、すべてのメニューが表示されます。メニューの種別ごとに、「◘撮影機能」メニュー、「▶再生機能」メニュー、「🔧詳細設定」メニューが表示されます。

1 十字キー（◀▶）でメニュー種別を選択する

選択枠がメニュータブにあるとき、十字キー（◀▶）でメニュー種別を変更できます。

2 十字キー（▲▼）で項目を選択する

十字キー（▲▼）で選択枠が上下に移動します。

3 十字キー（◀▶）で設定を切り替える

3’ 選択画面があるときには十字キー（▶）で選択画面に移行する

設定が終了したら、OKボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

4 OKボタンを押す

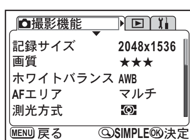
設定が保存され、撮影または再生できる状態に戻ります。

注意

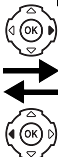
- OKボタンを押して設定を保存する前に、OKボタン以外のボタンを押してメニュー画面を閉じると、設定は保存されません。
- OK ボタンを押してメニュー画面を閉じても、電源をオンにしたまま電池を取り出したりするなど誤った操作で電源をオフにすると設定は保存されません。

FULLメニューの操作例（撮影モードでMENUボタンを押した場合）

「撮影機能」メニュー



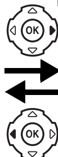
1



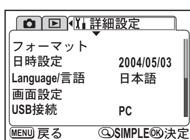
「再生機能」メニュー



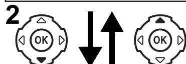
1

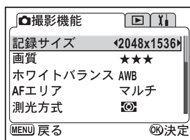


「詳細設定」メニュー

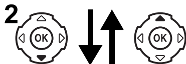


2

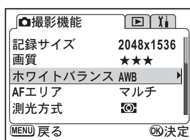


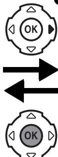


2



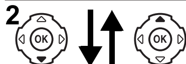
3’ 選択画面



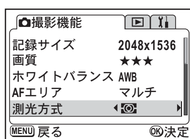


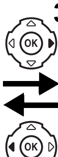


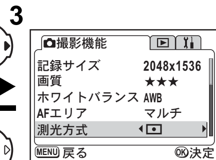
2

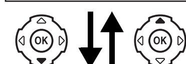


3









次のメニュー画面



- メニュー表示中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードに切り替わります。その場合、設定は保存されません。
- 撮影モードからメニューを表示させると「撮影機能」メニューが表示され、再生モードからメニューを表示させると「再生機能」メニューが表示されます。

FULLメニュー一覧

「撮影機能」メニュー

項目	内容	初期設定	P		参照
記録サイズ	画像の画素数が選べます。	2048×1536	○	320×240	p.41, 64
画質	画像の圧縮率が選べます。	★★★	○	×	p.42
ホワイトバランス	撮影時の光の状態に合わせて色を調整します。	AWB（オート）	○	○	p.44
AFエリア	オートフォーカスの対象になる範囲を変更します。	マルチ	○	×	p.45
測光方式	露出を決定する測光方式を設定します。	（分割）	○	○	p.46
感度	感度を設定します。	オート	○	×	p.47
動画	動画の記録サイズ、カラーモード、早送り動画を設定します。	–	×	○	p.64～69
デジタルズーム	デジタルズームを使用するか使用しないかを設定します。	オン	○	○	p.60
モードメモリ	電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリします。	–	○	○	p.70
シャープネス	シャープネスを設定します。	標準	○	×	p.48
彩度	彩度を設定します。	標準	○	×	p.49
コントラスト	コントラストを設定します。	標準	○	×	p.50



「×」の項目は、メニュー画面上では設定を変更できますが、作動には反映されません。

「再生機能」メニュー

項目	内容	参照
リサイズ	画像のサイズを変更します。	p.88
トリミング	画像をトリミングします。	p.90
画像コピー	内蔵メモリとSDメモリーカード間でファイルをコピーします。	p.76
デジタルフィルタ	撮影済みの画像をフィルタ処理します。	p.92

「詳細設定」メニュー

項目	内容	参照
フォーマット	SDメモリーカードまたは内蔵メモリを初期化します。	p.94
日時設定	日付、時刻、表示スタイルを設定します。	p.95
Language／言語	メニューやメッセージを表示する言語を切り替えます。	p.95
画面設定	起動画面やメニュー背景画を設定します。	p.96
USB接続	USB接続モードを変更します。	p.99
スリープ	節電機能を設定します。	p.98
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるようにします。	p.98
リセット	設定を初期値に戻します。	p.99

撮影のための機能を設定する

モードを切り替える

撮影ができる状態を撮影モード、再生や消去ができる状態を再生モードといいます。

撮影モードと再生モードを切り替える

- 撮影モードから再生モードへは、▶再生ボタンを押して切り替えます。
- 再生モードから撮影モードへは、▶再生ボタンを押すか、シャッターボタンを全押しまたは半押しして切り替えます。

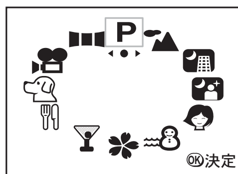
撮影モードを選ぶ

撮影モードはバーチャルモードダイヤルを表示して選択します。12種類の撮影モードがあります。

P	プログラム		シャッター速度と絞りをカメラが自動的に設定して静止画を撮影します。	p.51
	ピクチャーモード	風景	風景写真をきれいに仕上げます。	p.52
		夜景	夜景など暗いシーンをきれいに仕上げます。	
		夜景ポートレート	暗いシーンでの人物をきれいに仕上げます。	
		ポートレート	人物をきれいに仕上げます。	
		サーフ＆スノー	砂浜や雪山などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。	
		花	花の写真をきれいに仕上げます。	
		パーティ	パーティの写真を、背景を活かしてきれいに仕上げます。	
		料理	テーブル上を見たままに鮮やかに仕上げます。	
		ペット	ペットの写真を、毛色を活かしてきれいに仕上げます。	
	動画モード		動画を撮影します。	p.62
	パノラマアシストモード		付属のソフトウェアでパノラマ写真を作成するための画像を撮影します。	p.55

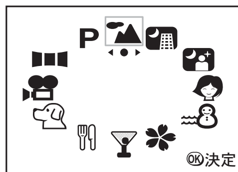
1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。



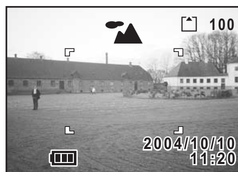
2 十字キー（◀▶）で設定したいモードを選ぶ

絵記号が四角の枠で表示されます。



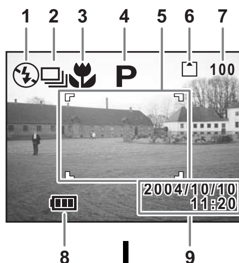
3 OKボタンを押す

選んだ撮影モードのアイコンが表示され、撮影できる状態に戻ります。



撮影情報を表示する

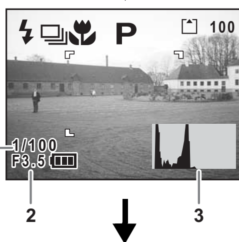
OKボタンを押すたびに、液晶モニタの表示が切り替わります。



通常表示

電源をオンしたときに表示される状態です。
撮影情報を表示します。

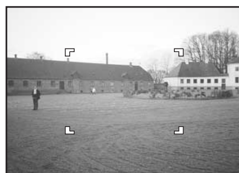
1 ストロボ　2 撮影方法
3 フォーカスモード　4 撮影モード
5 AFフレーム　6 カード／内蔵メモリ
7 撮影可能残量　8 バッテリーマーク
9 日時



ヒストグラム表示

明度分布を表示します。
横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

1 シャッター速度　2 絞り値
3 ヒストグラム
（1、2はシャッターボタンを半押しした時に表示されます。）



情報表示なし

撮影情報を表示しません。

- オートフォーカス時には、AFフレームが表示されます。
- 設定を変更したときは、数秒間、設定内容を表示します。



液晶モニタオフ

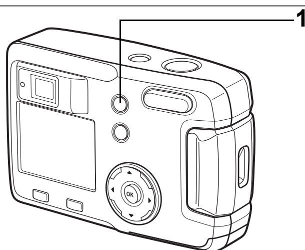
液晶モニタをオフにします。

通常表示



動画モード、パノラマモードでは、液晶モニタをオフにはできません。

ディスプレイモードの設定を保存する☞ p.70



フォーカスの設定を変える

フォーカスモード

(表示なし)	オートフォーカスモード	シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。被写体までの距離が50cm以上のときに使用します。
🌷	マクロモード	被写体までの距離が約2cm～60cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AF エリアにあるものにピントを合わせます。
▲	遠景モード	遠くにあるものを撮影するときに使用します。
MF	マニュアルフォーカスモード	手動でピントを合わせます。

1 撮影モードで🌷▲MFボタンを押す

押すたびにフォーカスモードが切り替わり、設定したモードが液晶モニタに表示されます。
設定したフォーカスモードで撮影できます。



- フォーカスモードの初期設定は「オートフォーカスモード」です。
- 動画モード(☞p.62)では「オートフォーカスモード」のみになります。
- 「マクロモード」でストロボを使用すると、露出オーバーになったり、画面の右下にケラレが発生することがあります。
- マクロモードでは、レンズが広角側に固定されます。



フォーカスモードを「マクロモード」に設定しているときは、ファインダーを見ながら撮影すると、撮影範囲がずれます。必ず液晶モニタで確認してください。

マニュアルでフォーカスを設定する

MF 時は、十字キー（▲▼）を押すと画面中央部が液晶モニタいっぱいに拡大表示されます。
表示されたモニタ画像を見ながら、十字キーでピントをあわせます。左端に現在のフォーカス位置がバー表示されます。


遠くにピントが合います。

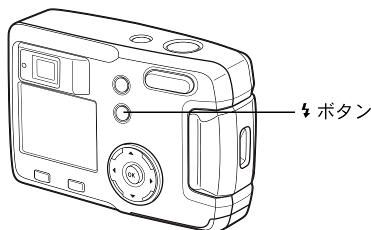

近くにピントが合います。

フォーカス位置が決まったら、十字キー（▲▼）以外のボタンを押すか、または十字キーから指を離して約5秒たつと、通常の撮影画面に切り替わります。



十字キー（▲▼）を押し続けると、速くピント合わせができます。

フォーカスモードを保存する☞p.70



ストロボの発光方法を選択する

(表示なし)	オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光します。
⚡ (発光禁止マーク)	発光禁止	明るさにかかわらず常にストロボは発光しません。
⚡	強制発光	明るさにかかわらず常にストロボを発光します。
👁A	オート＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
👁⚡	強制発光＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。 常にストロボを発光します。

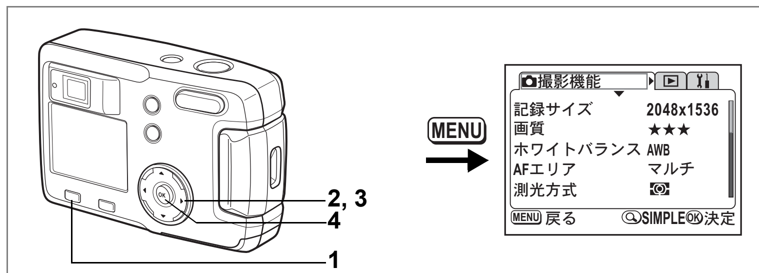


- 次のいずれかの場合、常に発光禁止になります。
  撮影モードが動画モード、連続撮影時、マルチ連写時、フォーカスモードが遠景モード
- ストロボ撮影時には、測光のための補助光として撮影前に必ずストロボを一度発光させます。
- 「オート＋赤目軽減」または「強制発光＋赤目軽減」では、撮影の前に、瞳を小さくさせるためにストロボを一度発光させ、少し間をおいてからストロボ撮影をします。

1 撮影モードで ⚡ ボタンを押す

押すたびに発光方法が切り替わり、マークが液晶モニタに表示されます。
設定したストロボ発光方法で撮影ができる状態になります。

ストロボ発光方法を保存する☞p.70



P

記録サイズを選択する

画像の記録画素数を「2048×1536」「1600×1200」「1024×768」「640×480」から選べます。
画素数が多くなるほど、画像が大きくなり容量も増えます。
また、画像の容量は設定している画質によっても異なります。

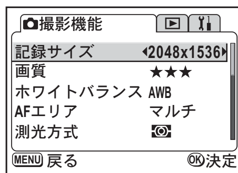
2048×1536	A4サイズでの印刷などに適しています。
1600×1200	A5サイズでの印刷などに適しています。
1024×768	はがきサイズでの印刷などに適しています。
640×480	電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。
SIMPLEメニュー（☞p.28）が表示されていたら、ズーム/ボタンを押してください。

2 十字キー（▲▼）を押して「記録サイズ」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で記録サイズを切り替える

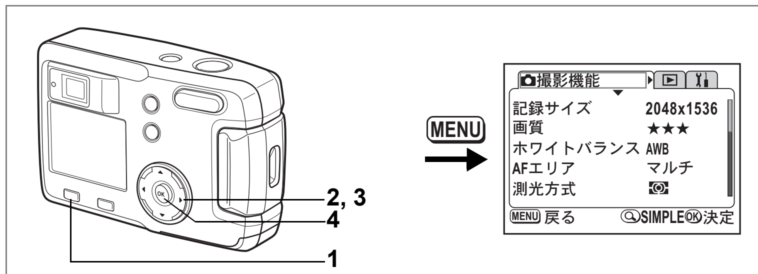


4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



- 「動画モード」では「320×240」、「160×120」から選べます。（☞p.64）
- 記録サイズを大きくすると、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。
- SIMPLEメニューでは、画質と記録サイズを組み合わせて「画像設定」として設定します。（☞p.43）





画質を選択する

画像の圧縮率が選べます。
★の数が多いほど、画質はきれいになり容量も増えます。
また、画像の容量は、設定している記録サイズによっても異なります。

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、A4サイズなど大きな写真のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、写真のプリントおよびパソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

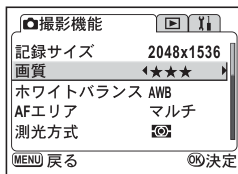
「撮影機能」メニューが表示されます。
SIMPLEメニュー（☞p.28）が表示されていたら、ズーム/⊞/🔍ボタンを押してください。

2　十字キー（▲▼）を押して「画質」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で画質を切り替える

4　OKボタンを押す

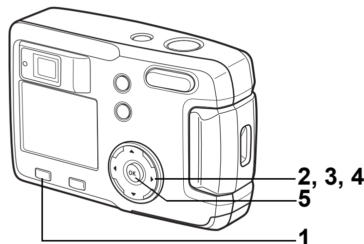
撮影できる状態になります。



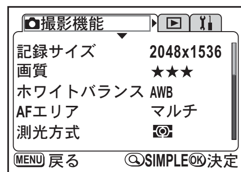
SIMPLEメニューでの設定

SIMPLEメニューでは、記録サイズと画質を組み合わせて「画像設定」として設定します。選択できるのは次の4種類です。

画像設定	記録サイズ	画質
最高画質	2048×1536	★★★
高画質	1600×1200	★★
標準画質	1024×768	★★
メール画質	640×480	★★



MENU





ホワイトバランスを調整する

撮影時の光の状態に応じて画像を自然な色あいに調整できます。

AWB	オート	調整をカメラにまかせます。
	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
	蛍光灯	蛍光灯で照明されたものを撮影するときに設定します。

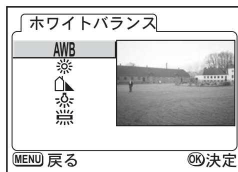
1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。
SIMPLEメニュー（☞p.28）が表示されていたら、ズーム/ボタンを押してください。

2 十字キー（▲▼）を押して「ホワイトバランス」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ホワイトバランス選択画面が表示されます。



4 十字キー（▲▼）で設定を切り替える

5 OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

ホワイトバランスを保存する☞p.70

MENU

撮影機能	
記録サイズ	2048x1536
画質	★★★
ホワイトバランス	AWB
AFエリア	マルチ
測光方式	
MENU 戻る	SIMPLE OK決定

2, 3
4
1

P

オートフォーカス範囲を設定する

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を変更できます。

マルチ	通常範囲
スポット	フォーカスが合う範囲を狭くします。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。
SIMPLEメニュー（☞p.28）が表示されていたら、ズーム/ /ボタンを押してください。

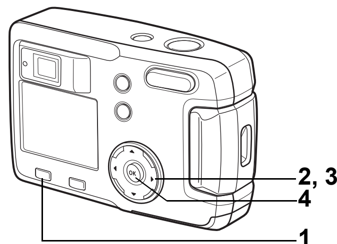
2 十字キー（▲▼）を押して「AFエリア」を選ぶ

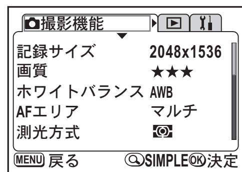
3 十字キー（◀▶）でAFエリアを切り替える

4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

撮影機能	
記録サイズ	2048x1536
画質	★★★
ホワイトバランス	AWB
AFエリア	◀マルチ▶
測光方式	
MENU 戻る	OK決定







測光範囲を設定する

画面のどの部分で明るさを測り、露出を決定するのかを設定します。

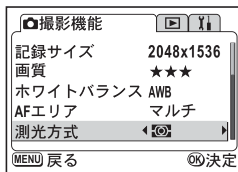
	分割	画面全体をきめ細かく測光して露出を決定します。
	中央部重点	画面中央を重点的に測光して露出を決定します。
	スポット	画面の中央のみを測光して露出を決定します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。
SIMPLEメニュー（☞p.28）が表示されていたら、ズーム/ /ボタンを押してください。

2 十字キー（▲▼）を押して「測光方式」を選ぶ

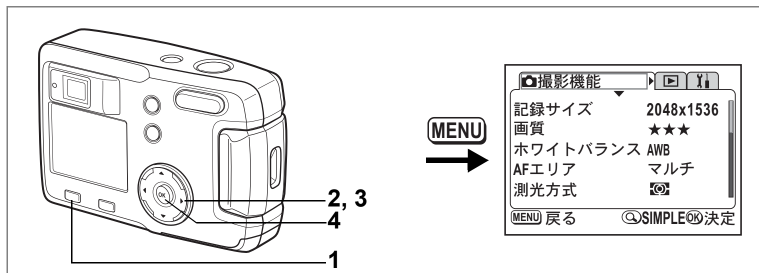
3 十字キー（◀▶）で測光方式を切り替える



4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

測光方式を保存する☞p.70





感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定することができます。

オート	設定をカメラにまかせます。
50	• 感度が低い（数字が小さい）ほど、ノイズの少ないシャープな画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。 • 感度が高い（数字が大きい）ほど、暗い場所でもシャッター速度を速くできます。画像にはノイズが増えます。
100	
200	
400	

1　撮影モードでMENUボタンを押す

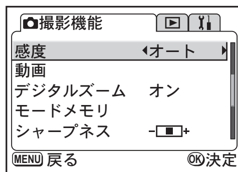
「撮影機能」メニューが表示されます。
SIMPLEメニュー（☞p.28）が表示されていたら、ズーム/ボタンを押してください。

2　十字キー（▲▼）を押して「感度」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で感度を切り替える

4　OKボタンを押す

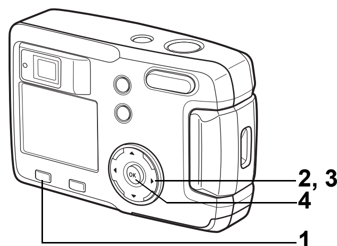
撮影できる状態になります。



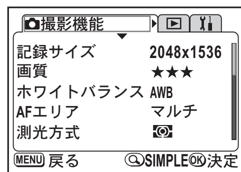


オートで設定される感度は50～200のみになります。

感度設定を保存する☞p.70









シャープネスを設定する

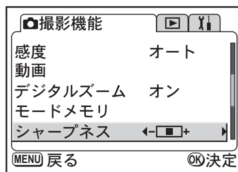
画像の輪郭をシャープまたはソフトにします。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。
SIMPLEメニュー（☞p.28）が表示されていたら、ズーム/ボタンを押してください。

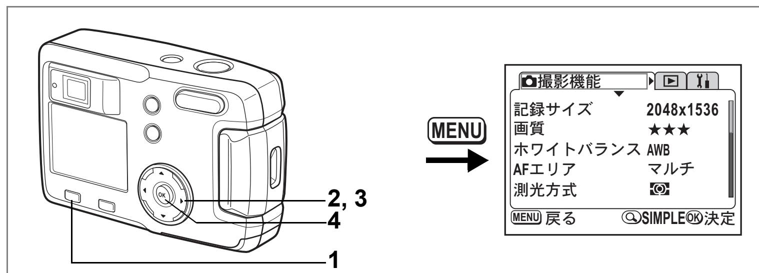
2 十字キー（▲▼）を押して「シャープネス」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で（標準）、（ハード）、（ソフト）を切り替える



4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



P

彩度を設定する

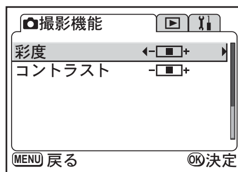
色の鮮やかさを設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。
SIMPLEメニュー（☞p.28）が表示されていたら、ズーム/ / ボタンを押してください。

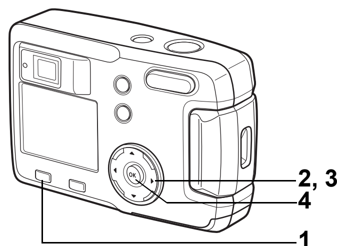
2　十字キー（▲▼）を押して「彩度」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で（標準）、（強）、（弱）を切り替える

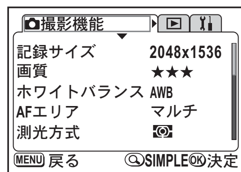


4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。









コントラストを設定する

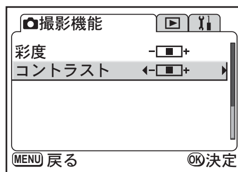
画像の明暗差を設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。
SIMPLEメニュー（☞p.28）が表示されていたら、ズーム/ /ボタンを押してください。

2　十字キー（▲▼）を押して「コントラスト」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で（標準）、（強）、（弱）を切り替える



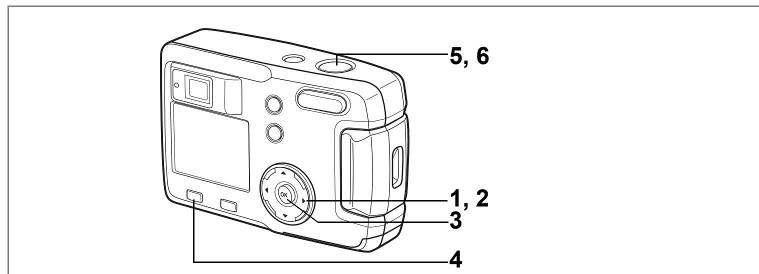
4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

4
撮影

撮影する

SDメモリーカードをセットしているときは、画像はすべてカードに記録されます。カードをセットしていないときは、カメラの内蔵メモリに記録されます。

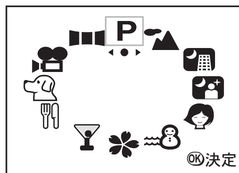


機能を設定して撮影する（プログラムモード）

プログラムモード（**P**）では、シャッター速度と絞りをカメラが自動的に設定して静止画を撮影します。必要に応じて、ユーザーがすべての機能を変更できます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。



2 十字キー（◀▶）でプログラムモード（P）を選ぶ

3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

4 使用する機能を設定する

機能の設定のしかたは、「撮影のための機能を設定する」（p.35〜p.50）をご覧ください。

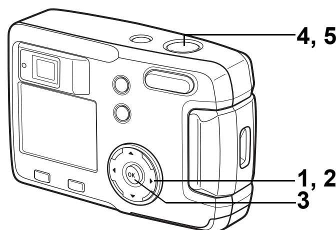
5 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

6 シャッターボタンを押す

撮影されます。

静止画を撮影する☞p.22



シーンにあわせた撮影をする（ピクチャーモード）

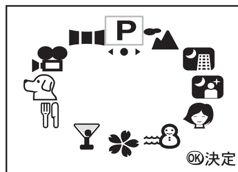
撮りたいシーンにあわせた設定で撮影します。

ピクチャーモードについて

ピクチャーモードには、以下の9つのモードがあります。

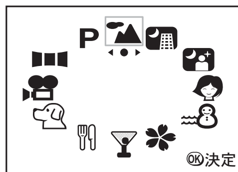
	風景	風景写真をきれいに仕上げます。
	夜景	夜景など暗いシーンをきれいに仕上げます。
	夜景ポートレート	暗いシーンでの人物をきれいに仕上げます。
	ポートレート	人物をきれいに仕上げます。
	サーフ＆スノー	砂浜や雪山などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。
	花	花の写真をきれいに仕上げます。
	パーティ	パーティの写真を、背景を活かしてきれいに仕上げます。
	料理	テーブル上を見たままに鮮やかに仕上げます。
	ペット	ペットの写真を、毛色を活かしてきれいに仕上げます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す



バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2 十字キー（◀▶）でピクチャーモードを選ぶ



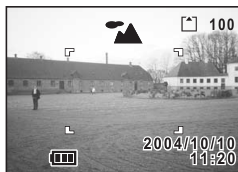
3 OKボタンを押す

ピクチャーモードが選択されます。
ここでは（風景モード）を選んだ例を示します。

4 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5 シャッターボタンを押す



撮影されます。



ピクチャーモードでは、露出補正、彩度、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランスが自動的に各モードの最適な値に設定されます（設定値は変更することもできます）。



「夜景」「夜景ポートレート」では、カメラぶれを防ぐため、三脚等に固定して撮影してください。

ペットモードで撮影する

ペットモードでは、ペットの毛色を活かしてきれいに写すことができます。
撮りたいペットの毛色が白っぽいか、黒っぽいかでアイコンの色を選択してください。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。

OK決定

2 十字キー（◀▶）でペットモードを選ぶ

OK決定

3 十字キー（▲▼）で〔犬白〕または〔犬黒〕を選ぶ

ペットアイコンには犬柄と猫柄の2種類あります。ペットモードを選択しているときに、〔Q〕ボタンを押すと、〔犬白〕と〔猫白〕、〔犬黒〕と〔猫黒〕で絵柄を切り替えることができます。
※犬アイコンと猫アイコンは、絵柄がちがうだけで、撮影結果には変化はありません。お好みで使い分けてください。

4 OKボタンを押す

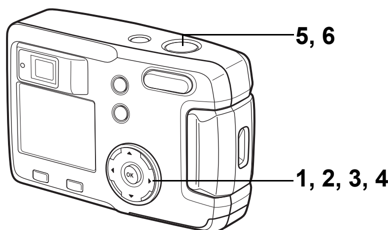
ペットモードが選択されます。

5 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

6 シャッターボタンを押す

ペットモードで撮影されます。

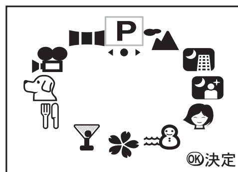


パノラマ撮影をする（パノラマアシストモード）

付属のソフトウェア（ACDSee for PENTAX）では、何枚かの写真をつなぎ合わせて、簡単にパノラマ写真を作成することができます。パノラマアシストモードで画像の端と端が重なるように撮影した写真をつなぎ合わせると、1枚のパノラマ写真に仕上がります。

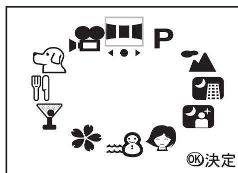
1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。



2 十字キー（◀▶）でパノラマアシスト（▮■▮）を選ぶ

3 OKボタンを押す



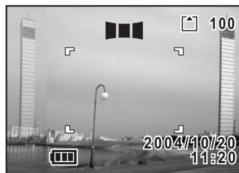
4 十字キーでつなげる方向を選ぶ

◀ 画像を左につなぎます。
▶ 画像を右につなぎます。
▲ 画像を上につなぎます。
▼ 画像を下につなぎます。
ここでは▶を選んだ場合について説明します。



5 1枚目の画像を撮影する

シャッターボタンを押すと1枚目の画像が撮影され、1枚目の画像の右端が液晶モニタの左端に透過表示されます。



6 カメラを右に移動し 2 枚目の画像を撮影する

実画像表示が左端の透過表示に重なるようにカメラを移動し、シャッターを切ります。
3枚目以降の画像も、手順5、6を繰り返して撮影します。
画像をつなげる方向を変えるには、手順1からやり直してください。

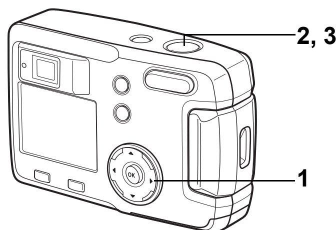




パノラマ撮影を中止するには、パノラマアシストモード以外のモードに切り替えてください。



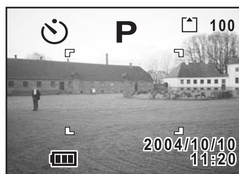
- パノラマ写真の作成はカメラ本体ではできません。付属のソフトウェア（ACDSee for PENTAX）を使用します。パノラマ写真の作成については、別冊の「PC接続編」を参照してください。
- パノラマアシストモードでは、連続撮影、マルチ連写はできません。





セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから10秒後、または2秒後に撮影します。



1 撮影モードで十字キー（▲）を押して、液晶モニタに⏲または⏲2sを表示させる

2 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3 シャッターボタンを押す

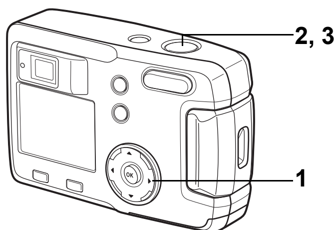
⏲ セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが約7秒間点灯します。セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約3秒後に撮影されます。

⏲2s セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約2秒後に撮影されます。



- 液晶モニタに撮影までの秒数がカウントダウン表示されます。
- カウントダウン表示中に十字キーや MENU ボタンなどのボタンを押すと、セルフタイマーは解除されます。

静止画を再生する☞p.24



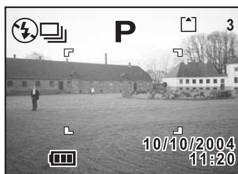
P

連続して撮影する（連続撮影／マルチ連写）

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
連続撮影とマルチ連写の2種類があります。

⧉	連続撮影	撮影・画像処理・保存を行いながら撮影します。
⧉	マルチ連写	4コマ連続して撮影を行い、1枚の画像として保存します。

1 撮影モードで十字キー（▲）を押して液晶モニタに⧉または⧉を表示させる



2 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3 シャッターボタンを押す

⧉ シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
シャッターボタンを離すと、撮影が終了します。
⧉ 1回に4コマが、連続して撮影されます。

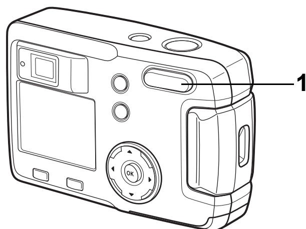
静止画を再生する☞p.24



- SDメモリーカードの容量がいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。
- マルチ連写では、記録サイズは1280×960に固定されています。

注意

- 連続撮影・マルチ連写では、ストロボは発光しません。
- 動画モード、パノラマアシストモード、夜景モード、夜景ポートレートモードでは、連続撮影・マルチ連写を利用できません。





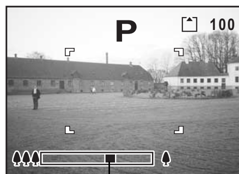
ズームを使って撮影する

ズームを使って、望遠／広角撮影ができます。

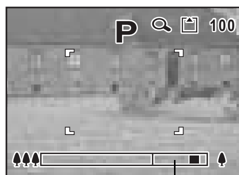
1　撮影モードでズームボタンを押す

♠　：被写体が大きく写ります。
♠♠♠：被写体が小さく写ります。

デジタルズーム機能がオフのときは、3倍までの光学ズーム撮影となります。
デジタルズーム機能がオンのときは、被写体をさらに最大4倍相当まで拡大して撮影できます。



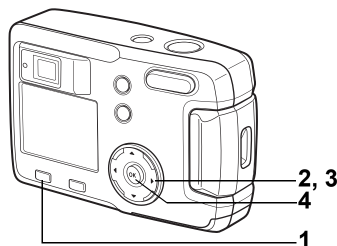
ズームバー



デジタルズーム領域

設定したズーム位置を保存する☞p.70

4
撮影









デジタルズーム機能をオンにする

1 撮影モードでMENUボタンを押す

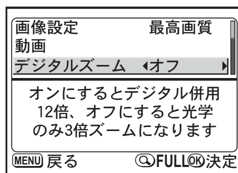
SIMPLEメニューまたは「撮影機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ

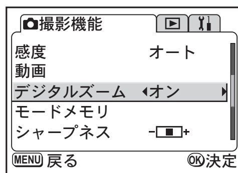
3 十字キー（▶）押してオンを選ぶ

4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



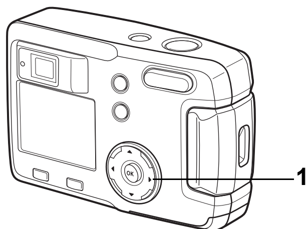
SIMPLEメニュー



「撮影機能」メニュー

デジタルズーム機能のオン／オフを保存する☞p.70

4 撮影



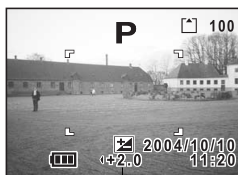


露出を補正する

意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影するときに露出補正をします。

1 撮影モードで十字キー（◀▶）を押す

明るくする場合は＋側を、暗くする場合は－側を設定します。
露出補正の値は、－2.0EV～＋2.0EVの範囲を1/3EV単位で選択できます。
設定した値が液晶モニタに表示されます。

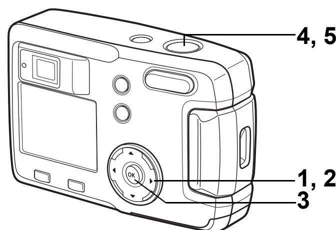


露出補正値



一度だけ十字キー（◀▶）を押した場合や±0に設定した場合は、2秒で表示が消えます。

露出補正値を保存する☞p.70



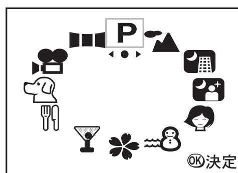
動画を撮影する（動画モード）

動画を撮影します。一度に撮影できる時間は、画面右上に表示されます。なお、音声の記録はできません。

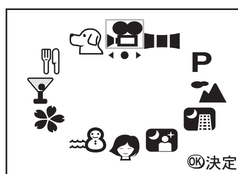
4
撮影

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。



2　十字キー（◀ ▶）で動画モード（）を選ぶ



3　OKボタンを押す

1 発光禁止マーク
2 動画モードアイコン
3 カード／内蔵メモリ
4 撮影可能時間



4 シャッターボタンを押す

撮影が開始されます。ズームボタンで画像の大きさを変えることができます。

♠ ：被写体が大きく写ります。

♠♠♠ ：被写体が小さく写ります。

5 シャッターボタンを押す

撮影が終了します。残り撮影可能時間が表示されます。

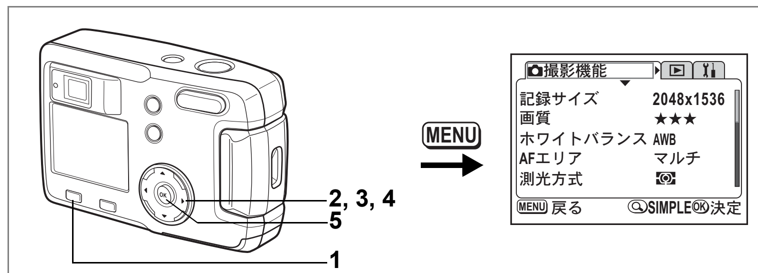
シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

動画を再生する☞p.75

注意

- 動画モードでは、ストロボは発光しません。
- 動画モードでは、連続撮影、マルチ連写はできません。
- 動画モードで設定できるフォーカスモードは、「オートフォーカスモード」のみです。





記録サイズを変えて動画を撮影する

動画の記録画素数を「320×240」「160×120」から選べます。
画素数が多くなるほど画像が大きくなり、撮影可能時間は短くなります。

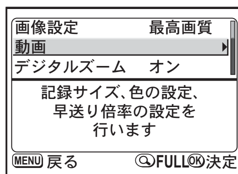
1　撮影モードでMENUボタンを押す

SIMPLEメニューまたは「撮影機能」メニューが表示されます。

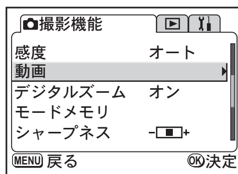
2　十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

動画設定画面が表示されます。

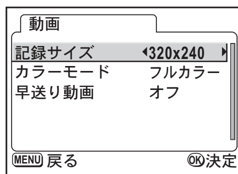


SIMPLEメニュー



「撮影機能」メニュー

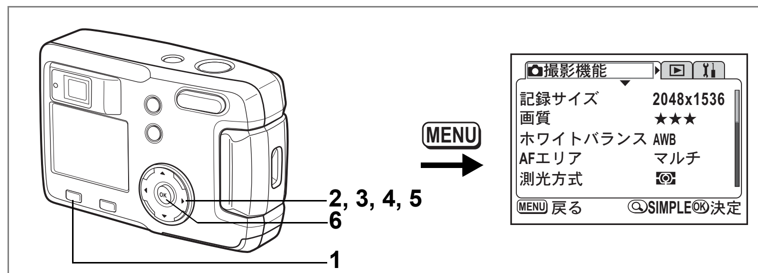
4　十字キー（◀▶）で記録サイズを切り替える



5　OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

動画を撮影する☞p.62





カラーモードを変えて動画を撮影する

動画のカラーモードをフルカラー、白黒、セピアから選べます。

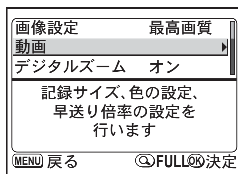
1　撮影モードでMENUボタンを押す

SIMPLEメニューまたは「撮影機能」メニューが表示されます。

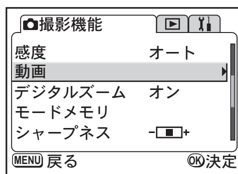
2　十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

動画設定画面が表示されます。

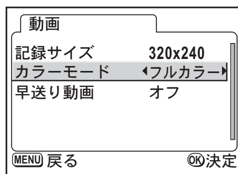


SIMPLEメニュー



「撮影機能」メニュー

4　十字キー（▼）で「カラーモード」を選ぶ

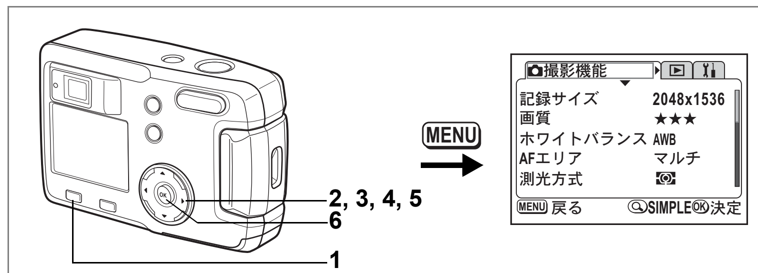


5　十字キー（◀▶）で「カラーモード」を切り替える

6　OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

動画を撮影する☞p.62





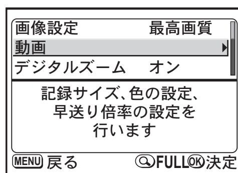
早送り動画を撮影する（早送り動画）

早送り動画を設定すると、フレームレート（1秒間に撮る画面回数）を遅らせて動画を撮影します。撮影した動画を再生すると、被写体が早送りされているように見えます。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

SIMPLEメニューまたは「撮影機能」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

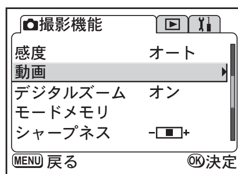


SIMPLEメニュー

3　十字キー（▶）を押す

動画設定画面が表示されます。

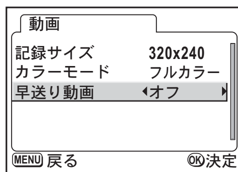
4　十字キー（▼）を押して「早送り動画」を選ぶ



「撮影機能」メニュー

4
撮影

5 十字キー（◀▶）で「オフ（×1）」「×2」「×5」「×10」「×20」「×50」「×100」を切り替える



6 OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。



- オフ（×1）は通常の動画設定です（15フレーム毎秒）。×2、×5と選ぶごとに1秒間に撮影される回数は1/2、1/5と減少していきます。
- 動画再生は常に15フレーム毎秒ですので、×2で撮影したものは2倍に、×5で撮影したものは5倍で早送り再生されるように見えます。

動画を撮影する☞p.62

設定を保存する

メニュー項目を保存する（モードメモリ）

電源をオフにしたときに、撮影のために設定した値をメモリ（保存）するかどうかを選びます。☑（オン）を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリします。□（オフ）を選ぶと、電源をオフにしたときに初期値に戻ります。

項目	内容	初期値
ストロボ	⚡ボタンで設定したストロボモードを保存します。	☑
ホワイトバランス	「📷撮影機能」メニューの「ホワイトバランス」での設定を保存します。	□
露出補正	設定した露出補正値を保存します。	□
測光方式	「📷撮影機能」メニューの「測光方式」で設定した測光方式を保存します。	□
感度	「📷撮影機能」メニューの「感度」で設定した値を保存します。	□
デジタルズーム	「📷撮影機能」メニューの「デジタルズーム」での設定を保存します。	☑
フォーカス方式	設定したフォーカスモードを保存します。	□
ズーム位置	設定したズーム位置を保存します。	□
DISPLAY	液晶モニタの表示モードを保存します。	□
ファイルNo.	ファイル番号を保存します。SDメモリーカードを入れ替えた場合でも、連番でファイル名を作成します。	☑

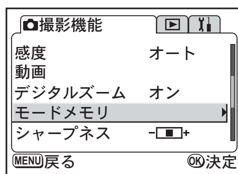


「モードメモリ」に含まれないメニュー項目は、電源をオフにした後も、各機能のメニュー画面で設定された値が保持されます。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「📷撮影機能」メニューが表示されます。
SIMPLEメニュー（☞p.28）が表示されていたら、ズーム/⊞/🔍ボタンを押してください。

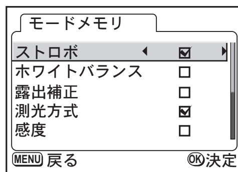
2　十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ



3　十字キー（▶）を押す

モードメモリ画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で項目を選ぶ



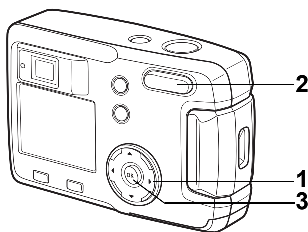
5　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

6　OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

画像を再生する

SDメモリーカードをセットしているときは、カードに記録された画像が再生されます。
カードをセットしていないときは、カメラの内蔵メモリに記録された画像が再生されます。



静止画を再生する

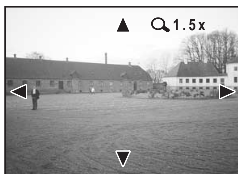
操作方法は「画像を再生する」(p.24)、「前後の見たい画像を再生する」(p.24) をご覧ください。

拡大して再生する

再生する画像を8倍まで拡大表示できます。拡大中は液晶モニタにガイドが表示されます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ

2　ズーム/⊞/🔍ボタンの♠/🔍を押す



画面が大きく（1倍～8倍）表示されます。押し続けると、連続的に大きさが変わります。

- **拡大表示中にできる操作**

十字キー（▲▼◀▶）	拡大位置を移動する
ズーム/⊞/🔍ボタン（♠）	画像を大きくする
ズーム/⊞/🔍ボタン（♠♠♠）	画像を小さくする

3　OKボタンを押す

拡大再生が終了します。

注意　動画は拡大表示できません。

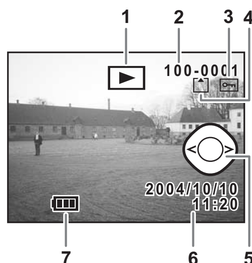
再生時の情報を表示する

再生時の情報を液晶モニタにオーバーレイ表示できます。OKボタンで表示される情報を切り替えます。

通常表示

撮影時の情報を表示します。

1 再生モード　2 フォルダ名 - ファイル名
3 プロテクトマーク
4 カード／内蔵メモリ
5 十字キー操作ガイド　6 撮影日時
7 バッテリーマーク

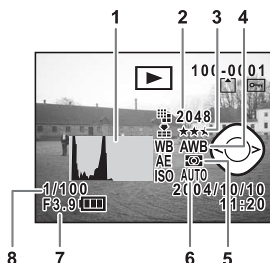




ヒストグラム表示

画像の明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

1 ヒストグラム　2 記録サイズ
3 画質　4 ホワイトバランス
5 測光方式　6 感度　7 絞り値
8 シャッター速度





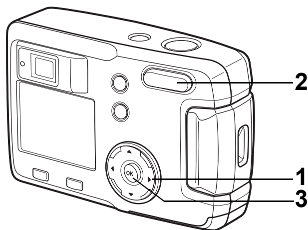
情報表示なし

撮影時の情報を表示しません。





通常表示



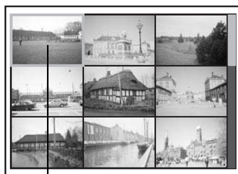
9画像ずつ表示する

撮った画像を1つの画面に同時に9枚ずつ表示できます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で画像を選ぶ

2　ズーム/⊞/🔍ボタンの⧫⧫⧫/⊞を押す

画像が小さなコマで一度に9コマまで表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で画像が選べます。10枚以上の画像が記録されている場合、右下の画像を選択しているときに十字キー（▶）を押すと次の9画像が表示され、左上の画像を選択しているときに十字キー（◀）を押すと前の9画像が表示されます。また、上の列の画像を選択しているときに十字キー（▲）を押すと前の9画像が表示され、下の列の画像を選択しているときに十字キー（▼）を押すと次の9画像が表示されます。

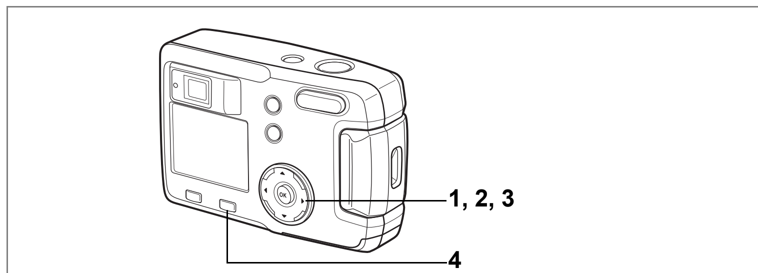

選択画像

3　OKボタンを押す

選択した画像が全画面表示されます。
動画は、1コマ目の画像が表示されます。



- 動画ファイルは、🎥マーク付きで表示されます。
- MENUボタン、🗑ボタン、ズーム/⊞/🔍ボタンを押しても、選択した画像の全画面表示に戻れます。



動画を再生する

動画を再生します。再生中は液晶モニタに操作ガイドが表示されます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

再生が開始します。再生残り時間がカウントダウン表示されます。



- **再生中にできる操作**
  十字キー（◀）　逆方向に再生する
  十字キー（▶）　順方向に再生する
  十字キー（▲）　一時停止する

- **一時停止中にできる操作**
  十字キー（◀）　コマ戻しする
  十字キー（▶）　コマ送りする
  十字キー（▲）　一時停止を解除する（再生する）

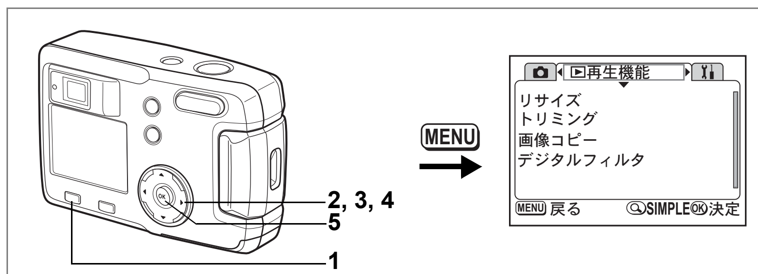
3　十字キー（▼）を押す

再生が停止し、1コマ目に戻ります。

4　▶再生ボタンを押す

撮影モードに切り替わります。

画像をコピーする



内蔵メモリとSDメモリーカード間でファイルをコピーします。あらかじめカードを入れておかないと、この機能は選択できません。
内蔵メモリからSDメモリカードにコピーする場合は、全てのファイルが一括してコピーされます。SDメモリカードから内蔵メモリにコピーする場合は、1ファイルごとに確認しながらコピーします。

1 再生モードに入り、MENUボタンを押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。
SIMPLEメニュー（☞p.28）が表示されていたら、ズーム/⊞/🔍ボタンを押してください。

2 十字キー（▼）を押して「画像コピー」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

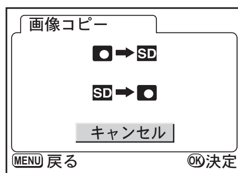
画像コピー画面が表示されます。

内蔵メモリからSDメモリカードにコピーする場合

4 十字キー（▲）を押して「■ ➡ SD」を選ぶ

5 OKボタンを押す

内蔵メモリの全てのファイルがSDメモリーカードにコピーされます。



5 再生・消去

SDメモリーカードから内蔵メモリにコピーする場合



4 **「SD ➡ ◘」を選びOKボタンを押す**

画像選択画面が表示されます。

5 **十字キー（◀▶）でコピーする画像を選ぶ**

6 **OKボタンを押す**

選んだ画像が内蔵メモリにコピーされます。
手順6,7を繰り返して、必要な画像をコピーします。

7 **MENUボタンを3回押す**

撮影または再生できる状態になります。

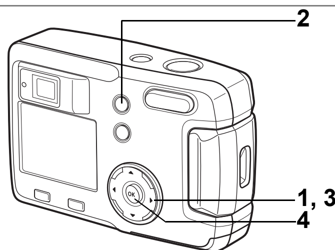


SDメモリーカードから内蔵メモリにコピーする場合、コピーするファイルは新しいファイル名に変更されます。



SDメモリーカードの挿入と取り出しは、必ず電源をオフにしてから行ってください。

画像を消去する



1画像ずつ消去する

1画像ずつ消去します。

注意
- 消去した画像は復元できません。
- プロテクトされている画像は消去できません。（☞p.80）

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像を選ぶ

2　🗑ボタンを押す

消去画面が表示されます。



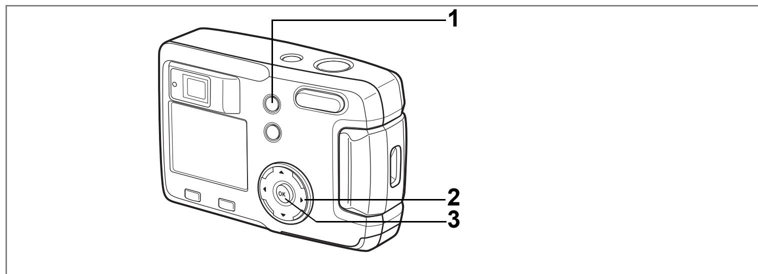
3　十字キー（▲）で「消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

選択した画像が消去されます。



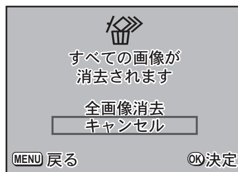
画像の消去は、クイックビュー（p.23）で画像表示中に行なうこともできます。



まとめて消去する

保存されている全画像を消去します。

注意
- 消去した画像は復元できません。
- プロテクトされている画像は消去できません。（☞p.80）



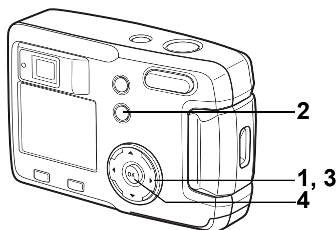
1　再生モードに入り、🗑ボタンを2 回押す

全画像消去画面が表示されます。

2　十字キー（▲）で「全画像消去」を選ぶ

3　OKボタンを押す

全画像が消去されます。



消去できないようにする（プロテクト）

画像を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプロテクトする画像を選ぶ

2　O‒π ボタンを押す

プロテクト画面が表示されます。



3　十字キー（▲）で「プロテクト」を選ぶ

4　OKボタンを押す

画像がプロテクトされます。



- プロテクトを解除するには、手順**3**で「解除」を選びます。
- プロテクトされた画像には、再生時にO‒πが表示されます。

全画像をプロテクトするには

全画像をプロテクトすることができます。

1　再生モードに入り、O‒π ボタンを2回押す

全画像プロテクト画面が表示されます。

2　十字キー（▲）で「全画像プロテクト」を選ぶ

3　OKボタンを押す

全画像がプロテクトされます。



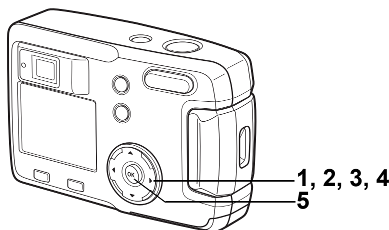
手順**2**で「解除」を選ぶと、全画像のプロテクト設定が解除されます。



プロテクトされた画像も、SDメモリーカードまたは内蔵メモリをフォーマットすると消去されます。

プリントサービスの設定をする（DPOF）

SD メモリーカードに保存した画像は、DPOF（ Digital Print Order Format）対応プリンタやラボプリントサービスでプリントできます。



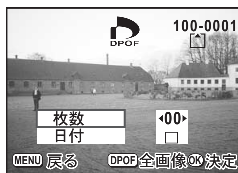
1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。
　枚数：プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
　日付：プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

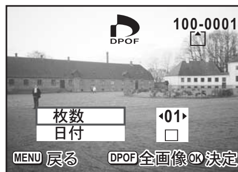
1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプリント指定する画像を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

DPOF画面が表示されます。



3 十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定し、十字キー（▼）を押す



選択枠が「日付」に移動します。

4 十字キー（◀▶）で日付の☑（オン）と□（オフ）を設定する

☑：プリントに日付を入れます。
□：プリントに日付を入れません。

5 OKボタンを押す

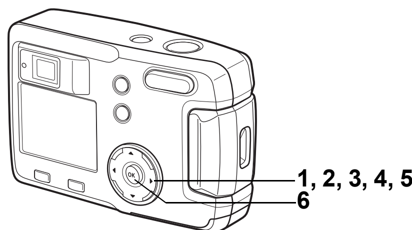
設定した値でプリント設定をします。



- すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付のオン／オフが表示されます。
- DPOF を解除するには、枚数を「00」に設定して、OK ボタンを押します。

注意

- 動画はDPOF設定できません。
- プリンタやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で日付をオンにしても、プリントに日付が写し込まれない場合があります。



全画像を設定する

1　再生モードで十字キー（▲）を押す

DPOF画面が表示されます。

2　十字キー（▲）を押す

DPOF（全画像）画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定する

99枚まで設定ができます。



4　十字キー（▼）を押す

5　十字キー（◀▶）で日付の☑（オン）と□（オフ）を設定する

☑：プリントに日付を入れます。
□：プリントに日付を入れません。

6　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。



- 全画像設定を行なうと、1画像ずつの設定は解除されます。
- 全画像設定でプリント枚数の指定をすると、すべてのコマに指定した枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。
- 動画はDPOF設定できません。
- 全画像設定でプリント枚数を00枚に設定すると、DPOF設定はすべて解除されます。

5
再生・消去

カメラを直接プリンタにつないでプリントする（PictBridge）

カメラを付属のUSBケーブル（I-USB6）でPictBridge対応プリンタに接続すると、パソコンを介さなくても、カメラからプリンタへダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリントする枚数は、カメラとプリンタを接続した状態で、カメラ側で設定を行います。

注意
- カメラをプリンタに接続するときは、ACアダプタキットK-AC5J（別売）のご使用をお奨めします。プリンタと通信中にバッテリーが消耗すると、プリンタが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。
- カメラからプリンタへのデータ転送中は、ファインダーランプがゆっくり点滅します。データ転送中にUSBケーブルを抜かないでください。

メモ
プリンタの種類によっては、カメラ側の設定（画質、DPOFの設定など）のすべてが反映されないことがあります。

カメラをプリンタに接続する

1 「詳細設定」メニューの「USB接続」で「PictBridge」を選ぶ

☞「USB接続モードを変更する」（p.99）

2 カメラを付属のUSBケーブルでプリンタに接続する

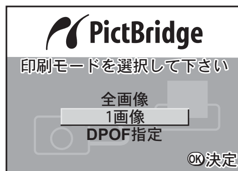
印刷モード選択画面が表示されます。



注意
「USB接続」で「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続しないでください。

1画像ずつプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「1画像」を選ぶ。



2　OKボタンを押す

1画像印刷画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ

4　十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ

10枚まで設定ができます。



5　▶再生ボタンで、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑：プリントに日付を入れます。
□：プリントに日付を入れません。

6　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。
プリントが終了すると、「続けて印刷しますか？」とメッセージが表示されます。OKボタンを押すと手順**3**の画面に戻り、続けてプリントすることができます。MENUボタンを押すと、印刷を終了します。
プリントを途中で中止するには、MENUボタンを押します。

全画像をプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「全画像」を選ぶ

2　OKボタンを押す

全画像印刷画面が表示されます。
十字キー（◀▶）で画像の確認ができます。



3　十字キー（▲▼）を押して各画像をプリントする枚数を選ぶ

何枚ずつプリントするかを選びます。

4　▶再生ボタンで、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑ ：プリントに日付を入れます。
□ ：プリントに日付を入れません。

5　OKボタンを押す

設定した条件で全画像がプリントされます。
プリントが終了すると、「続けて印刷しますか？」とメッセージが表示されます。OKボタンを押すと手順**3**の画面に戻り、続けてプリントすることができます。
プリントを途中で中止するには、メニューボタンを押します。

プリントサービスの設定（DPOF）内容でプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「DPOF指定」を選ぶ

2　OKボタンを押す

DPOF指定印刷画面が表示されます。
十字キー（◀▶）で、画像と印刷設定の確認ができます。



3　OKボタンを押す

選んだ画像に設定されているプリントサービスの設定内容でプリントされます。
プリントが終了すると、「続けて印刷しますか？」とメッセージが表示されます。OKボタンを押すと手順**3**の画面に戻り、続けてプリントすることができます。
プリントを途中で中止するには、メニューボタンを押します。

プリンタからカメラを取り外す

プリントが終了したら、カメラをプリンタから取り外します。

1　カメラの電源をオフにする

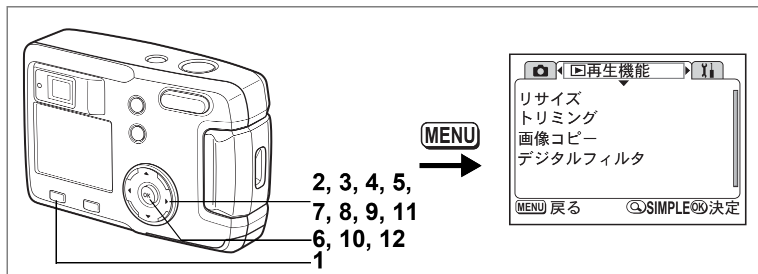
2　カメラからUSBケーブルを取り外す

3　プリンタからUSBケーブルを取り外す



「続けて印刷しますか？」とメッセージが表示されているときにMENUボタンを押すと、「USBケーブルを取外しできます」とメッセージが表示されます。カメラからUSBケーブルを取り外すと、カメラは自動的に撮影モードに切り替わります。

画像を編集する



画像のサイズを変更する

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、ファイルサイズを元のファイルサイズよりも小さくすることができます。サイズを変更した画像は、元の画像に上書き保存することも、新規の画像として保存することもできます。

1　MENUボタンを押す

2　十字キー（▶）を押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。
SIMPLEメニューが表示されていたら、ズーム/⊞/🔍ボタンを押してから十字キー（▶）を押してください。

3　十字キー（▲▼）を押して「リサイズ」を選ぶ

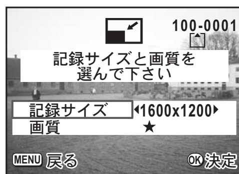
4　十字キー（▶）を押す

リサイズ画面が表示されます。



5　十字キー（◀▶）でリサイズする画像を選ぶ

6 OKボタンを押す



7 十字キー（◀▶）で「記録サイズ」を選ぶ

8 十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

9 十字キー（◀▶）で「画質」を選ぶ

10 OKボタンを押す

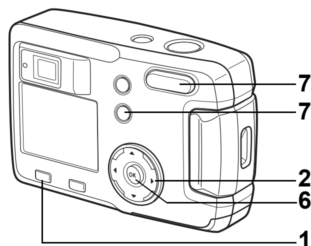
11 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

12 OKボタンを押す

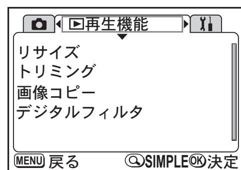
リサイズされた画像が保存されます。



- 動画のサイズを変更することはできません。
- 元の画像の記録サイズよりも大きな記録サイズは選択できません。
- 元の画像の画質よりもきれいな画質は選択できません。







画像をトリミングする

画像の一部分をトリミングして、別の画像として保存します。

1　MENUボタンを押す

2　十字キー（▶）を押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。
SIMPLEメニューが表示されていたら、ズーム/▦/🔍ボタンを押してから十字キー（▶）を押してください。

3　十字キー（▲▼）を押して「トリミング」を選ぶ

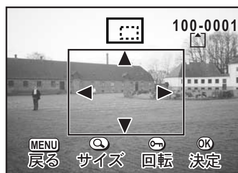
4　十字キー（▶）を押す

トリミングできる画面が表示されます。

5　十字キー（◀▶）でトリミングする画像を選ぶ

6　OKボタンを押す

トリミング画面が表示されます。



7　トリミングする

- **トリミング画面でできる操作**

ズーム/▦/🔍ボタン	画像のサイズを変える
O━ボタン	画像の縦横を切り替える
十字キー（▲▼◀▶）	トリミング位置を上下左右に移動する
MENUボタン	トリミングする画像を選択する画面に戻る

6 画像の編集・設定

8 OKボタンを押す

9 十字キー（◀▶）でトリミング後の画質を選ぶ

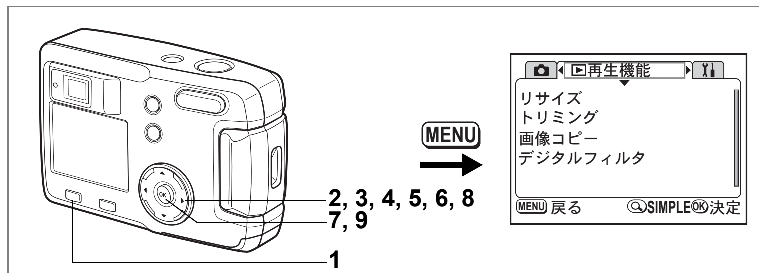


10 OKボタンを押す

トリミングされた画像が別の画像として保存されます。



- 動画をトリミングすることはできません。
- 元の画像の画質よりもきれいな画質は選択できません。



デジタルフィルタを使って編集する

デジタルフィルタには、赤、青、緑などさまざまな色をした色フィルタ、明るさを調節する明るさフィルタがあります。デジタルフィルタモードでは、これらのフィルタを使用して画像を編集できます。

● **色フィルタ**

色フィルタには、白黒、セピア、赤、桃色、紫、青、緑、黄色の8種類のフィルタがあります。色フィルタを選択すると、液晶モニタにはそれぞれの色フィルタの色味がかかった画像が表示され、その色で画像が保存されます。

● **明るさフィルタ**

明るさフィルタを使用すると、画像全体を明るく／暗くして保存できます。

1 MENUボタンを押す

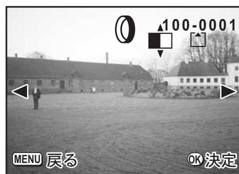
2 十字キー（▶）を押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。
SIMPLEメニューが表示されていたら、ズーム/⊞/🔍ボタンを押してから十字キー（▶）を押してください。

3 十字キー（▲▼）を押して「デジタルフィルタ」を選ぶ

4 十字キー（▶）を押す

デジタルフィルタが設定できる画面が表示されます。



5 十字キー（◀▶）で編集する画像を選ぶ

6 十字キー（▲▼）でデジタルフィルタを選ぶ

液晶モニタにフィルタがかかった画像が表示されます。

- **明るさフィルタ でできる操作**
  ズーム/⊞/🔍ボタン（♠）　画像を明るくする
  ズーム/⊞/🔍ボタン（♠♠♠）　画像を暗くする

7 OKボタンを押す

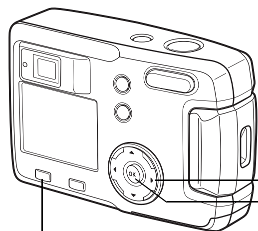
8 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

9 OKボタンを押す

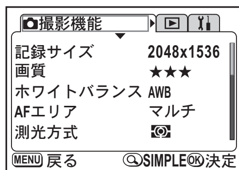
デジタルフィルタで編集された画像が保存されます。

カメラの設定をする

「詳細設定」メニューの呼び出しかた







カード／内蔵メモリをフォーマットする

SDメモリーカードに保存されているすべてのデータを消去します。カードが入っていない場合は、内蔵メモリのデータが消去されます。

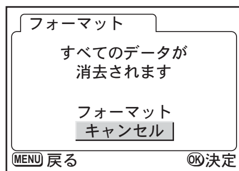
注意

- SDメモリーカードのフォーマット中は、カードカバーを開けないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行なうと、プロテクトされた画像も消去されます。ご注意ください。

1　SIMPLEメニューまたは「詳細設定」メニューの「フォーマット」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

フォーマット画面が表示されます。



3　十字キー（▲▼）で「フォーマット」を選ぶ

4　OKボタンを押す

フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影できる状態になります。





日付の表示スタイル／日付／時刻を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示形式を設定します。「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選べます。

1 SIMPLE メニューまたは「詳細設定」メニューの「日時設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

日時設定画面が表示されます。

日時の設定方法は「初期設定をする」（p.18）をご覧ください。

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。

1 SIMPLEメニューまたは「詳細設定」メニューの「Language/言語」を選ぶ

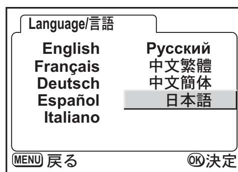
2 十字キー（▶）を押す

Language/言語画面が表示されます。

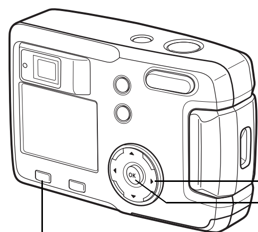
3 十字キー（▲▼◀▶）で言語を切り替える

4 OKボタンを2回押す

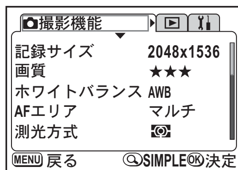
撮影または再生できる状態になります。



「詳細設定」メニューの呼び出しかた





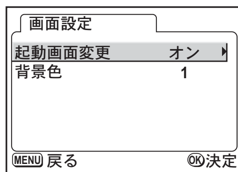


起動画面／背景色を変更する

1 SIMPLE メニューまたは「詳細設定」メニューの「画面設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

画面設定画面が表示されます。



起動画面を変更する

カメラで撮影した画像を、カメラの電源を入れたときに、起動画面として表示させることができます。

3 「起動画面変更」を選び、十字キー（▶）を押す

起動画面変更画面が表示されます。

4 十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

☑ 起動画面を表示します

□ 起動画面を表示しません



5 ボタンを押す

6 十字キー（◀▶）を押して、起動画面として表示する画像を選ぶ

7 OKボタンを4回押す

撮影または再生できる状態になります。



一度設定した起動画面は、元の画像を消去したり、SDメモリーカードや内蔵メモリをフォーマットしても消去されません。消去する場合は設定をリセットしてください。（☞p.99）

6 画像の編集・設定

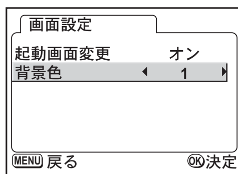




背景色を設定する

液晶モニタに表示されるメニューの背景の色柄を設定します。あらかじめ登録された6種類の中から選択します。

3 十字キー（▼）で「背景色」を選ぶ



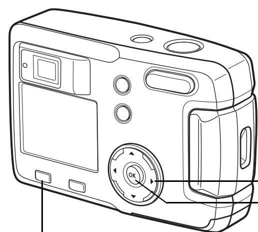
4 十字キー（◀▶）で背景色を選ぶ

メニューの背景画が変わります。

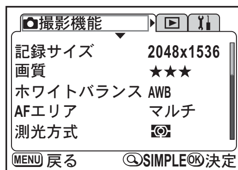
5 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

「🔧詳細設定」メニューの呼び出しかた







スリープを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に液晶モニタが消えるように設定できます。

1 「🔧詳細設定」メニューの「スリープ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「30秒」「1分」「2分」「オフ」のいずれかを選ぶ

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。



USB接続しているときはスリープは働きません。

オートパワーオフを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に電源がオフになるように設定できます。

1 「🔧詳細設定」メニューの「オートパワーオフ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「3分」「5分」「オフ」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。



USB接続しているときは、オートパワーオフは働きません。





USB接続モードを変更する

USBケーブルの接続先がプリンタ（PictBrigde）か、パソコンかによって、USB接続モードを切り替えます。

1 「詳細設定」メニューの「USB接続」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「PC」「PictBrigde」を切り替える

3 OKボタンを押す

パソコンまたはプリンタに接続できる状態になります。



「USB接続」で「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続しないでください。

設定をリセットする

日時設定、Language/言語設定以外の設定内容をリセットします。

1 「詳細設定」メニューの「リセット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

リセット画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「リセット」を選ぶ

4 OKボタン を押す

撮影または再生できる状態になります。



設定をリセットすると、次にMENUボタンを押した時にはSIMPLEメニューで表示されます。

付録

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニタに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

圧縮に失敗しました	画像の圧縮に失敗しました。画質／サイズを変えて、もう一度撮影してください。
カード空き容量なし 内蔵メモリ空き容量なし	SDメモリーカードまたは内蔵メモリに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.15、78） 画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。（p.41、42）
記録中です	画像をSDメモリーカードまたは内蔵メモリに記録しています。
フォルダが作成できません	最大のファイルNo.が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードまたは内蔵メモリをフォーマットしてください。（p.94）
画像がありません	SDメモリーカードまたは内蔵メモリに再生できる画像が保存されていません。
この画像を表示できません	このカメラでは再生できない画像を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
プロテクトされています	プロテクトされた画像を消去しようとした場合に表示されます。
設定を記録中です	画像のプロテクト設定やDPOF設定を記録しています。
設定を正しく保存できませんでした	SDメモリーカードまたは内蔵メモリに容量いっぱいの画像が保存されていて、DPOFの設定がこれ以上できません。不要な画像を消去してから、設定をやり直してください。
消去中です	画像を消去しています。
電池容量がなくなりました	電池残量がありません。電池を交換してください。（p.12）
カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合もあります。
内蔵メモリエラーです フォーマットして下さい	内蔵メモリが異常で、撮影／再生ともに不可能な場合に表示されます。パソコン上では表示できる場合もあります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。（p.94）

フォーマット中	SDメモリーカードまたは内蔵メモリをフォーマット中です。（p.94）
カードがロックされています	SDメモリーカードがライトプロテクトされています。（p.16）

PictBridge機能を使用する場合に、液晶モニタに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

用紙がありません	接続したプリンタの用紙がない場合に表示されます。
インクがありません	接続したプリンタのインクがない場合に表示されます。
プリンタエラーです	接続したプリンタでエラーメッセージが送られた場合に表示されます。
データエラーです	接続したプリンタからデータに関してのメッセージが送られた場合に表示されます。
用紙が詰まりました	接続したプリンタで紙詰まりが起こった場合に表示されます。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	電池が入っていない	電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	電池／カードカバーが開いている	電池／カードカバーを閉じてください。
	電池の入れかたを間違えている	電池の挿入方向を確認してください。電池室の⊕⊖表示にしたがって電池を入れなおしてください。（p.12）
	電池の残量がない	新しい電池をセットしてください。または、ACアダプタを使用してください。
液晶モニタに何も表示されない	USBケーブルでパソコンに接続している	パソコンに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります。
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニタが表示されていても、確認しづらいことがあります。
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ファインダーランプが赤色に点滅している間は、ストロボが充電中で撮影できません。充電が完了すると消灯します。
	SDメモリーカードまたは内蔵メモリに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.15、p.78）
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	コントラストの低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、オートフォーカスが苦手なものです。一旦撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニタ中央のAFエリアに、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、一旦撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードを🌷にセットしてください（p.38）
	フォーカスモードが🌷になっている	フォーカスモードが🌷にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	撮るものまでの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。
	背景が暗い	夜景など暗い背景で人物の写真を撮ると、人物は適正露出でも背景にはストロボの光がとどきませんので暗くなってしまうことがあります。バーチャルダイヤル画面で[夜景]や[夜景人物]モードにセットして撮影すると、人物も夜景もきれいに撮ることができます。（p.52）
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が発光禁止になっている	オートまたは⚡に設定してください。（p.40）
	撮影モードが🎥にセットされているか、連続撮影、または▲モードに設定されている	これらのモードではストロボは発光しません。

7

付録

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ	
有効画素数	320万画素	
撮像素子	総画素数334万画素、原色フィルタ／インターライントランスファー1/2.7型CCD	
記録画素数	静止画	2048×1536ピクセル、1600×1200ピクセル、1024×768ピクセル、640×480ピクセル
	動画	320×240ピクセル、160×240ピクセル
感度	オート、マニュアル（ISO50相当、ISO100相当、ISO200相当、ISO400相当）	
記録方式	静止画	JPEG（Exif2.2）、DCF準拠、DPOF対応
	動画	MOV（Quick Time Motion JPEG準拠）、約15フレーム/秒、音声なし、フルカラー／セピア／白黒切替可能
画質	S.ファイン、ファイン、エコノミー	
記録媒体	内蔵メモリ（約16MB）、SDメモリーカード	
撮影枚数		

画質 / 記録サイズ	S.ファイン	ファイン	エコノミー	動画（320×240）	動画（160×120）
2048×1536	7	13	19	42秒	155秒
1600×1200	12	20	28		
1024×768	25	46	58		
640×480	54	84	103		

- 表の数値は内蔵メモリ（16MB）を使用した場合の枚数

ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯	
レンズ	焦点距離	5.8mm～17.4mm（35mmフィルム換算：38～114mm相当）
	F値	F2.9～F5
	レンズ構成	6群7枚（非球面レンズ3枚使用）
	ズーム方式	電動式
	撮影範囲	28.6mm×21.2mmを画面一杯に撮影可能（ワイド、撮影距離2cmでマクロモードおよびマニュアルフォーカス時）
デジタルズーム	撮影時：	最大約4倍（光学3倍ズームと合わせ、最大約12倍ズーム相当のズーム倍率）
ファインダー	方式： 倍率：	実像式光学ズームファインダー ワイド0.39×、テレ1.01×
液晶モニタ	1.6型TFTカラー LCD（バックライト付）、8.5万画素	
再生機能	1コマ、インデックス（9画面）、拡大（最大8倍）、スクロール、ムービー再生、ヒストグラム表示、トリミング、リサイズ、デジタルフィルタ	

オートフォーカス	方式	撮影素子によるTTLコントラスト検出方式
	撮影範囲 （レンズ前面から）	ノーマル：0.5m～∞（ズーム全域） マクロ　：0.02m～0.6m（広角側のみ） 遠景　　：∞（ズーム全域）
	フォーカスロック	シャッターボタン半押しによる
マニュアルフォーカス	0.02m～∞（広角側のみ）、0.5m～∞（広角側を除くズーム全域）	
露出機構	測光方式	撮影素子によるＴＴＬ測光（分割、中央部重点、スポット）
	露出モード	プログラム、ピクチャーモード、動画、パノラマアシスト
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
	動画	撮影時間はメモリ空き容量による
シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	速度	約1/2000秒～約2秒
ストロボ	型式	赤目軽減機能付オートストロボ
	発光モード	オート、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減
	撮影範囲	ワイド　約0.2m～約2.9m（感度オート） テレ　　約0.5m～約1.7m（感度オート）
ドライブモード	1コマ撮影、セルフタイマー撮影、連続撮影、マルチ連写	
セルフタイマー	電子制御式、作動時間：約2秒／約10秒	
電源	リチウム電池CR-V3 1本、単3型電池2本、（アルカリ、ニッケル水素、リチウム）、ACアダプタキット（別売）	
バッテリー寿命	約600枚	（液晶モニタオン、ストロボ使用率50％；リチウム電池CR-V3を使用した場合） ※撮影可能枚数は当社撮影条件による目安です
入出力ポート	USB端子（PC通信方式USB1.1）、外部電源端子	
ダイレクトプリント	PictBridge対応	
大きさ	93.5（幅）×61.5（高）×36（厚）mm（小突起除く）	
質量	130g（電池、SDメモリーカード含まず）	
撮影時質量	180g（電池、SDメモリーカード含む）	
付属品	単3アルカリ電池2本、USBケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、ストラップ、使用説明書、保証書	

別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ACアダプタキット K-AC5J

カメラケース O-CC2

ストラップ O-ST18（※）

USBケーブル I-USB6（※）

（※）の製品は同梱品と同じものです。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（一部の離島を除く）どこからでも均一料金で修理品梱包資材のお届け・修理品のお引取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する便利なサービスです。

TEL 0120-737-919（フリーダイヤル）TEL 03-3975-4314（携帯・PHS用）
（受付時間：土・日・祝日・年末年始および弊社休業日を除く9：00～17：00）

インターネット受付
URL：http://www.pentax.co.jp/japan/support/

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か当社のお客様相談センターまたは、お客様窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えるようしっかりと梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社のお客様窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社のお客様窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、当社のお客様相談センターまたは、お客様窓口でお持ちの保証書と交換に発行いたします。[保証期間中のみ有効]

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

メモ

メモ

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.co.jp/**

お客様相談センター（弊社製品に関するお問い合わせ）

〒174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9
営業時間午前 9：00 〜午後 6：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）
0570-001313（市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話、PHS の方は、下記の電話番号をご利用ください。
☎**03-3960-3200**（代）　☎**03-3960-0887** デジタルカメラ専用

［ショールーム・写真展・修理受付］

ペンタックスフォーラム ☎**03-3348-2941（代）**
〒163-0401 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1 階（私書箱 240 号）
営業時間午前 10：30 〜午後 6：30（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

［修理受付］

ペンタックス札幌営業所お客様窓口 ☎**011-612-3231（代）**
〒060-0010 札幌市中央区北 10 条西 18-36 ペンタックス札幌ビル 2 階
営業時間午前 9：00 〜午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス仙台営業所お客様窓口 ☎**022-371-6663（代）**
〒981-3133 仙台市泉区泉中央 1-7-1 千代田生命泉中央駅ビル 5 階
営業時間午前 9：00 〜午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス名古屋営業所お客様窓口 ☎**052-962-5331（代）**
〒461-0001 名古屋市東区泉 1-19-8 ペンタックスビル 3 階
営業時間午前 9：00 〜午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス大阪営業所お客様窓口 ☎**06-6271-7996（代）**
〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 〜午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス広島営業所お客様窓口 ☎**082-234-5681（代）**
〒730-0851 広島市中区榎町 2-15 榎町ビュロー 1 階
営業時間午前 9：00 〜午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス福岡営業所お客様窓口 ☎**092-281-6868（代）**
〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町 3-8 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 〜午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

［宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ］

ペンタックスサービス（株）東日本修理センター ☎**03-3975-4341（代）**
〒175-0082 東京都板橋区高島平 6-6-2 ペンタックス（株）流通センター内
営業時間午前 9：00 〜午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス（株）西日本修理センター ☎**06-6271-7996（代）**
〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 〜午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）



for your
precious moments

ペンタックス株式会社
〒174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9
ペンタックス販売株式会社
〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1

☆この説明書には再生紙を使用しています。
☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57308　02-200404
Printed in Japan